



2022 年度版

あいち観光戦略に基づく 観光振興施策の実施状況

(2021 年度年次報告書)



本書は、愛知県観光振興基本条例第 9 条第 6 項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の 2021 年度の実施状況に関する報告を行うものです。

目 次

あいち観光戦略の概要	1
1 数値目標の達成状況	3
(1) 観光消費額.....	4
(2) 観光入込客数【量】.....	5
(3) 観光消費額単価【質】.....	7
2 2021年度の観光振興施策の実施状況	10
柱1 あいち「ツウ」リズムの推進.....	10
柱2 受入れ体制の整備・充実.....	21
柱3 観光交流拠点としての機能強化.....	24
柱4 MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用.....	27
柱5 持続可能な観光の実現.....	32
柱6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応.....	35
3 2022年度の主要な観光振興施策	37
柱1 あいち「ツウ」リズムの推進.....	37
柱2 受入れ体制の整備・充実.....	41
柱3 観光交流拠点としての機能強化.....	42
柱4 MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用.....	43
柱5 持続可能な観光の実現.....	44
柱6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応.....	45

・ 本報告書は、主な施策を抜粋して掲載しているため、すべての体系番号が掲載されているわけではない。

あいち観光戦略2021-2023の概要

1 基本的な事項

戦略の目的

愛知県観光振興基本条例が掲げる「魅力ある活力に満ちた地域社会の実現及び県民生活の向上」に向けて、観光関連産業の振興を図る。

戦略の位置付け

- ① 条例に定める「観光振興に関する基本的な計画」。
- ② 「あいちビジョン2030」の観光振興分野の個別計画。

戦略の期間

2021年度～2023年度(3か年)

2 愛知の観光を取り巻く状況

2030年頃の社会経済情勢の展望

- ◆ 人口減少の進行・人生100年時代の到来
- ◆ 第4次産業革命の進展
- ◆ 価値観・ライフスタイルの多様化
- ◆ リニア開業による首都圏と中京圏の一体化
- ◆ 世界経済の多極化と海外旅行者数の増加
- ◆ SDGsの理念の定着
- ◆ 大規模な自然災害のリスクの増大や感染症への意識の高まり

2030年頃までの大規模事業・プロジェクト

- ◆ 2021年
東京オリンピック・パラリンピック開催
- ◆ 2022年秋 ジブリパーク開業
- ◆ 2025年 大阪・関西万博開催
- ◆ 2026年
第20回アジア競技大会
(2026/愛知・名古屋)開催
- ◆ 2027年度
リニア中央新幹線(品川・名古屋間)開業

観光の質的・量的変化

- ◆ 訪日旅行者の地方への拡散
- ◆ 個人の趣味・嗜好の多様化・細分化・高度化と旅行のニーズの変化
- ◆ 旅マエ・旅ナカ・旅アトのすべての段階におけるデジタルの台頭
- ◆ 新型コロナウイルス感染症による旅行需要の急減と旅行スタイルの変化

「あいち観光戦略2016-2020」の評価・課題

- ◆ 県内各地における観光への取組の加速
- ◆ 訪日旅行者の増加
- ◆ 愛知デスティネーションキャンペーン(愛知DC)によるレガシの創出
- ◆ 大規模事業・プロジェクトの進展による観光振興
- ◆ 滞在日数や魅力度の伸び悩み
- ◆ 新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受けた観光の再生

取り組むべき課題

人口減少に伴う国内旅行市場の縮小

1人あたり旅行消費額の増額

第4次産業革命の進展

デジタル化への対応

価値観やライフスタイルの多様化

変化(多様化・細分化・高度化)する
旅行者のニーズへの対応

感染症の拡大による意識・行動の変化

愛知DCによる取組体制の構築

大規模事業・プロジェクトの進展

愛知DCの成果や大規模事業・プロジェクト
(ジブリパーク等)の活用

来県者数の増、滞在日数の伸び悩み

観光コンテンツの高付加価値化

感染症の影響による観光需要の減少

観光の再生、県民市場の開拓

取組の方向

- ◆ 愛知ならではの多様な魅力を「ツウ」な魅力*として磨き上げ、デジタルも活用した的確なマーケティングにより、多様化する旅行ニーズに対応しつつ、観光コンテンツとしての高付加価値化を図る。
- ◆ 魅力ある地域資源、充実した広域交通基盤、世界有数のモノづくり産業の集積など、愛知の独自の強みを活かし競争力の向上を図る。

※「ツウ」な魅力：誰でも、何度でも楽しめる奥深い魅力

3 目指すべき姿

～ "Heart" of JAPAN セカンドステージ ～
あいち「ツウ」リズム™を推進し、独自の強みを発揮する「観光県」

4 施策立案・実施にあたっての基本的な方針

独自の魅力・強みの強化 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 愛知ならではの資源の深掘り・磨き上げ ◆ ジブリパーク開業効果の活用 ◆ リニア開業効果の活用の検討 	地域連携・県民参加とSDGsの実践 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 市町村や地域の観光関係団体との連携 ◆ 県民参加の促進 ◆ 多様な主体との連携 ◆ SDGsの理念に基づく持続可能な観光の実現
EBPMの実践とデジタルの活用 <ul style="list-style-type: none"> ◆ エビダンスに基づく施策立案・実施と分析・評価 ◆ デジタルを活用した効果的なPR・プロモーションとの確な効果測定等 	ウィズコロナ・ポストコロナへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 新しい生活様式・新しい旅行スタイルへの対応 ◆ 観光の再生に向けた取組

5 施策の柱

① あいち「ツウ」リズム™の推進

【「ツウ」な魅力向上】 <ul style="list-style-type: none"> 歴史(武将・城郭・街道等) 産業(製造業・農林水産業・伝統産業等) 自然(海・山・離島等) 食(なごやめし・醸造等) 山車・祭(からくり・花祭等) ～など 	推し・嗜好によるターゲット設定 ニーズへの対応・高付加価値化	【効果的なPR・プロモーション】 <ul style="list-style-type: none"> デジタルの活用 運輸機関・旅行業者・メディアとの連携 海外レップの活用 特化型イベントの開催・出展・支援 県民による魅力発信 ～など
---	-----------------------------------	---

② 受入れ体制の整備・充実

- ◆ 多言語化の促進等による利便性の向上
- ◆ 多様な宗教・信条等への対応支援
- ◆ 多様な旅行・宿泊ニーズへの対応
- ◆ ユニバーサルツーリズムの推進
- ◆ 旅行者の安全・安心の確保

③ 観光交流拠点としての機能強化

- ◆ 周遊観光・広域観光の推進
- ◆ 航空路線・外航クルーズ船の誘致
- ◆ モビリティ・マネジメント
- ◆ 交通インフラの整備

④ MICEの誘致・開催、Aichi Sky Expoの活用

- ◆ 国際会議・展示会の誘致・開催
- ◆ イベントの誘致・開催
- ◆ インセンティブツアーの誘致
- ◆ スポーツ大会の招致・開催

⑤ 持続可能な観光の実現

- ◆ 「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の普及
- ◆ 観光人材の確保・育成
- ◆ 観光イノベーションの促進
- ◆ 取組体制の構築

⑥ ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

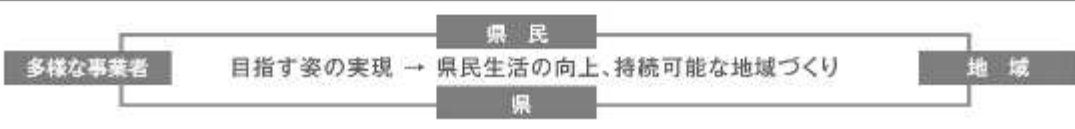
- ◆ 安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客
- ◆ 旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化

6 数値目標

観光消費額 1.0兆円 うち外国人 2,500億円	観光入込客数 全体1.2億人回 うち外国人380万人回	観光消費額単価 日本人 6,450円 外国人 65,790円	来県外国人旅行者数 290万人 延べ宿泊者数 全体2,000万人泊 うち外国人365万人泊 国際会議開催件数 220件
満足度 全体50.0%/外国人50.0% 推奨意向 県民25.0%/県外在住者50.0% 再訪意向 県外在住者100.0%			

各施策のKPI

7 体制



1 数値目標の達成状況

あいち観光戦略において、計画最終年度(2023 年度)の目標として掲げた指標に対する達成状況は、下表のとおりであった。

		計画当初 (2020年)	2021年 (実績)	目標値 (2023年)
観光消費額	全体	4,669 億円 ^{*2}	4,502 億円	1 兆円
	外国人	493 億円 ^{*2}	— ^{*5}	2,500 億円
観光入込客数	全体	0.8 億人回 ^{*2}	0.8 億人回	1.2 億人回
	外国人	71 万人回 ^{*2}	5 万人回	380 万人回
来県外国人旅行者数		34 万人 ^{*3}	— ^{*6}	290 万人
延べ宿泊者数	全体	1,107 万人泊	1,134 万人泊	2,000 万人泊
	外国人	66 万人泊	11 万人泊	365 万人泊
国際会議開催件数		11 件	11 件 (2020年)	220 件
観光消費額単価	日本人	5,404 円 ^{*2}	5,375 円	6,450 円
	外国人	63,413 円 ^{*2}	— ^{*6}	65,790 円
満足度 (「非常に満足」の割合)	全体	35.7% ^{*4}	31.8%	50.0%
	外国人	— ^{*7}	— ^{*7}	50.0%
推奨意向 (高位層 ^{*1})	県民	16.1% ^{*4}	20.9%	25.0%
	県外在住者	16.3% ^{*4}	30.1%	50.0%
再訪意向	県外在住者	84.3% ^{*4}	82.6%	100.0%

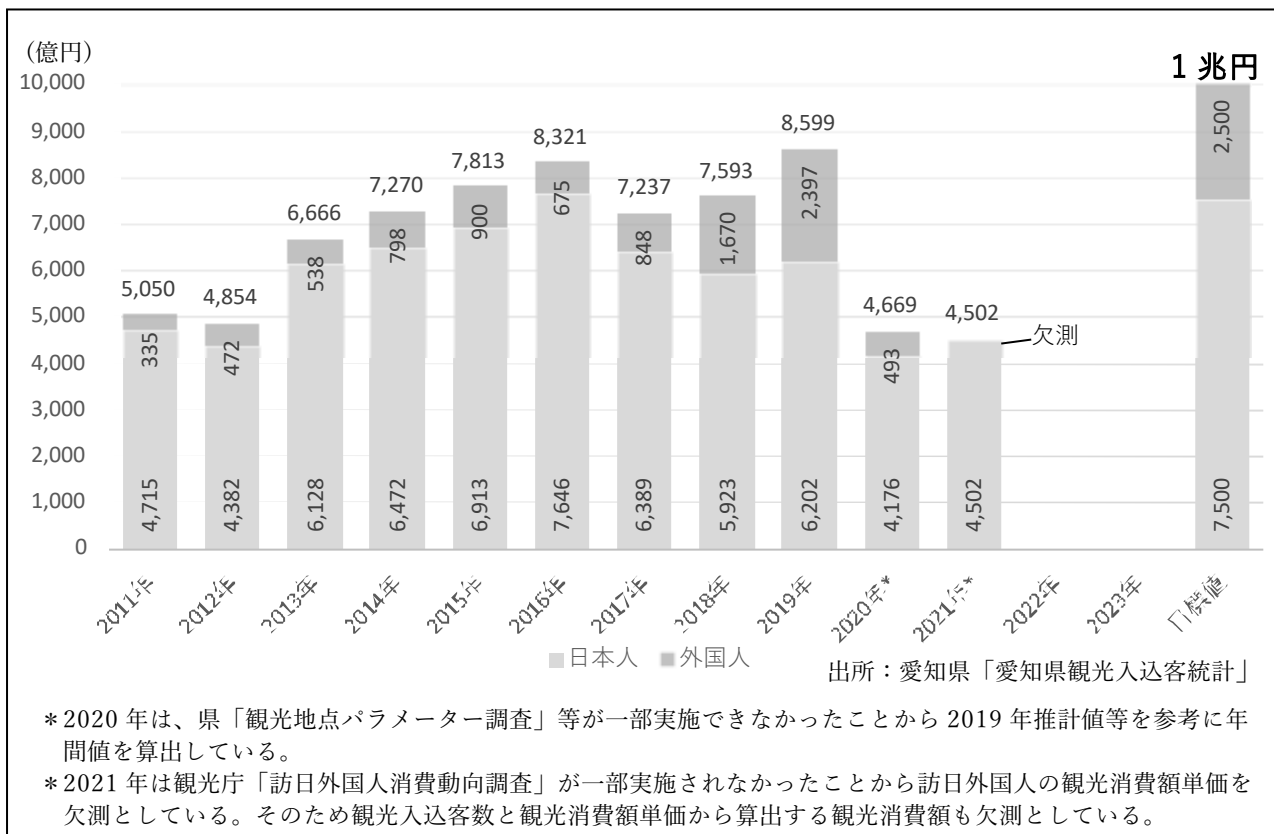
- *1 「愛知の観光をまったく推奨しない」を 0 点、「とても推奨したい」を 10 点とした場合に、9～10 点と回答した層。
- *2 「観光消費額」、「観光入込客数」及び「観光消費額単価」は県「観光地点等入込客数調査」(毎月調査)、県「観光地点パラメーター調査」(四半期調査)及び観光庁から提供された「宿泊旅行統計調査」(毎月調査)、「訪日外国人消費動向調査」(四半期調査)等のデータにより推計しているが、2020 年については、新型コロナウイルス感染症の影響により、「観光地点パラメーター調査」は 4～6 月及び 7～9 月期の調査が実施できなかったこと、及び観光庁「訪日外国人消費動向調査」は 4～6 月期、7～9 月期及び 10～12 月期の調査が実施されなかったことから、2019 年推計値等の参考値を用いて推計し、年間値を算出した。
- *3 「来県外国人旅行者数」を算出する因子のひとつである「都道府県別訪問率」を測定する観光庁「訪日外国人消費動向調査」(四半期調査)について 2020 年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4～6 月期・7～9 月期及び 10～12 月期の調査が実施されなかったため、1～3 月期の都道府県訪問率を年間の訪日外客数に乗じて算出している。
- *4 「満足度(全体)」、「推奨意向」及び「再訪意向」を測定する「観光地点パラメーター調査」(四半期調査)について 2020 年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、4～6 月及び 7～9 月期の調査を実施できなかったため、1～3 月及び 10～12 月期の結果のみから算出している。
- *5 観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施されなかったことから訪日外国人の観光消費額単価を欠測としている。そのため観光入込客数と観光消費額単価から算出する観光消費額は欠測としている。
- *6 観光庁「訪日外国人消費動向調査」は 10～12 月期のみ一部実施されたが、「来県外国人旅行者数」を算出する因子のひとつである「都道府県別訪問率」を算出するための調査は実施されなかったため、欠測となった。
- *7 「満足度(外国人)」を測定する県「愛知県訪日外客動向調査」が、2020 年度及び 2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったため、欠測となった。

KGI(Key Goal Indicator: 重要目標達成指標)達成状況

本県の観光関連産業は、2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況にあったが、国内旅行需要や県民による県内周遊、宿泊に回復の兆しが見られた。

(1) 観光消費額

2020年に比べ、外国人の消費額が「蒸発」したため、総額としてはマイナスとなったが、日本人の観光消費額は増加した。



県民による県内宿泊旅行の伸びが2倍以上となり、国による地域観光事業支援(いわゆる県民割)を活用した「あいち旅eマネーキャンペーン」、「LOVE あいちキャンペーン」の効果があつたことが推察される。

【参考】居住地・宿泊/日帰り別観光消費額の推移

	2020年*	2021年*	2021/2020年比
県内在住者・宿泊	41,654 百万	87,590 百万円	210.3%
県内在住者・日帰り	154,971 百万	154,119 百万円	99.5%
県外在住者・宿泊	141,260 百万	149,162 百万円	105.6%
県外在住者・日帰り	79,660 百万	59,329 百万円	74.5%
訪日外国人・宿泊	47,092 百万	—	—
訪日外国人・日帰り	2,227 百万	—	—

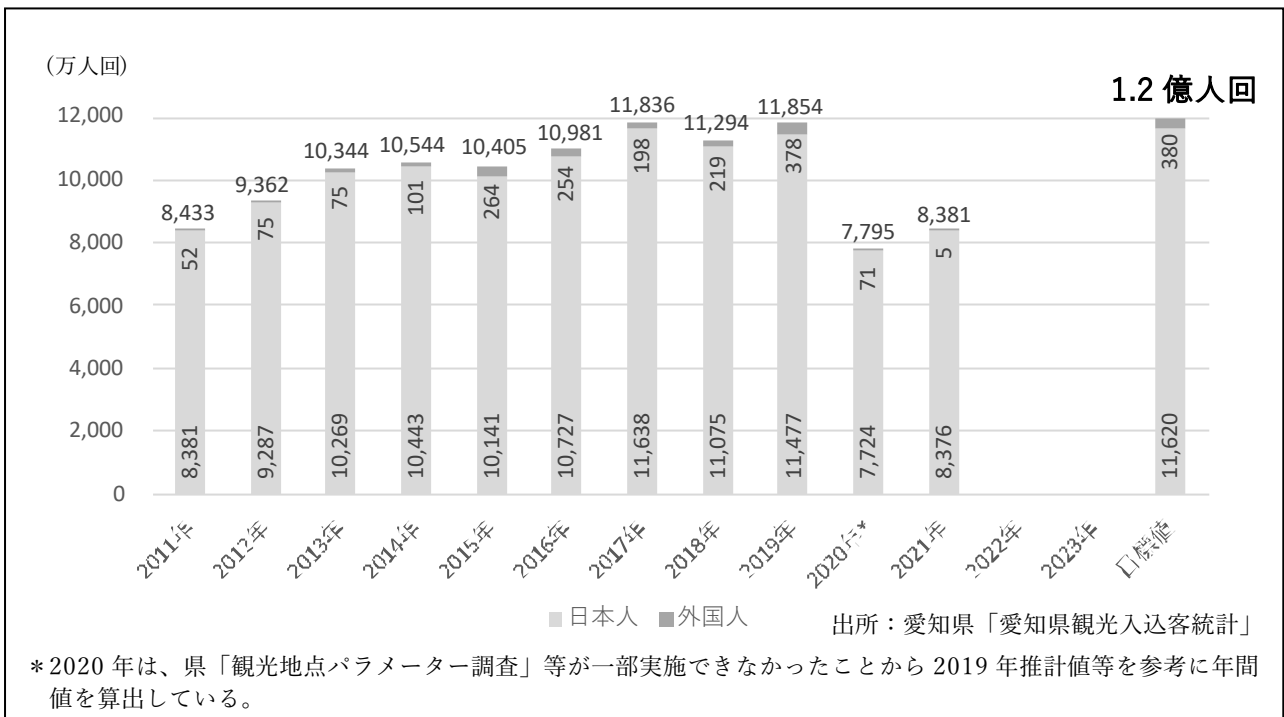
出所：愛知県「愛知県観光入込客統計」

*2020年は、県「観光地点パラメーター調査」等が一部実施できなかったことから2019年推計値等を参考に年間値を算出している。

*2021年は観光庁「訪日外国人消費動向調査」が一部実施されなかったことから訪日外国人の観光消費額単価を欠測としている。そのため観光入込客数と観光消費額単価から算出する観光消費額も欠測としている。

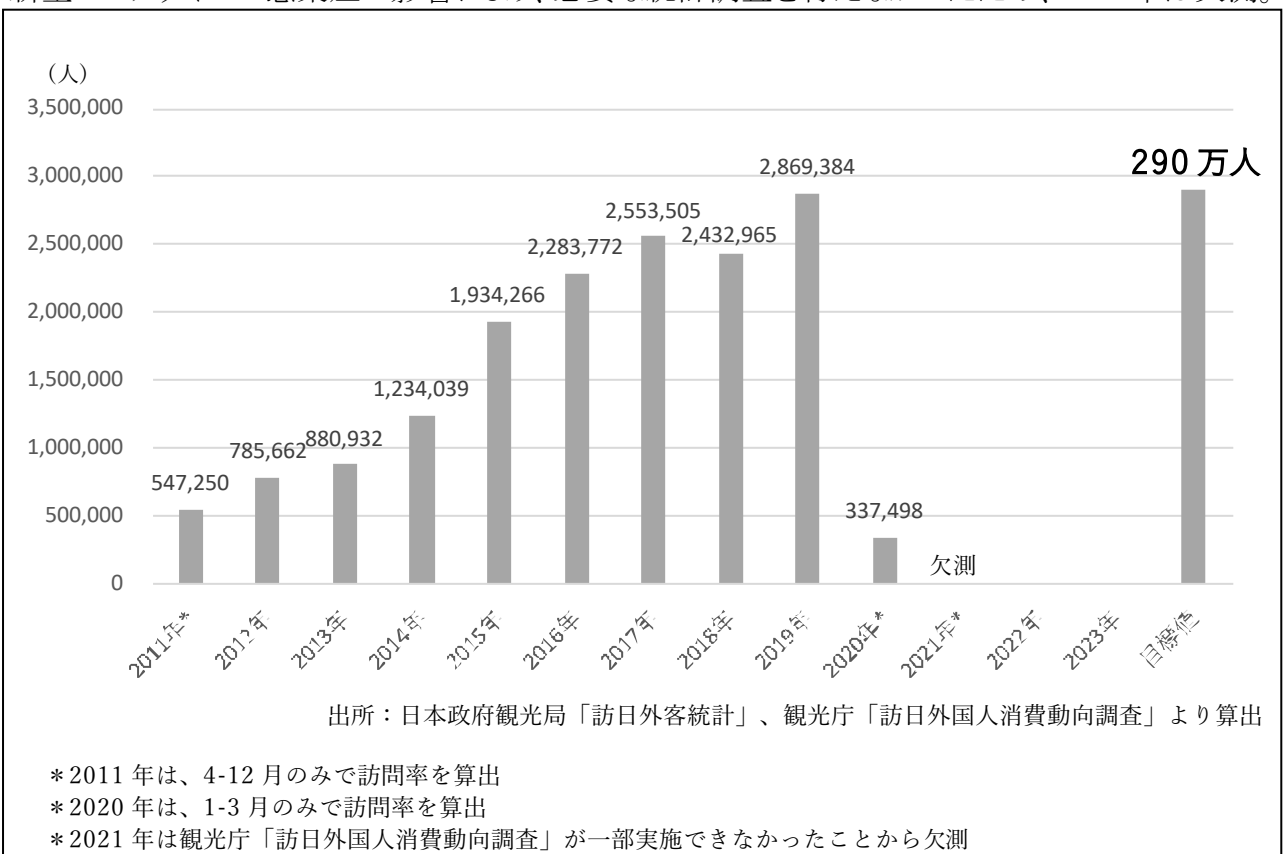
(2) 観光入込客数【量】

外国人が減少した一方、日本人は増加に転じた。これは、日本人旅行者と受入側の双方がコロナ禍における「新しい旅行スタイル」を受容したことに加え、いわゆる「県民割」により、旅行需要が喚起されたことが要因として考えられる。

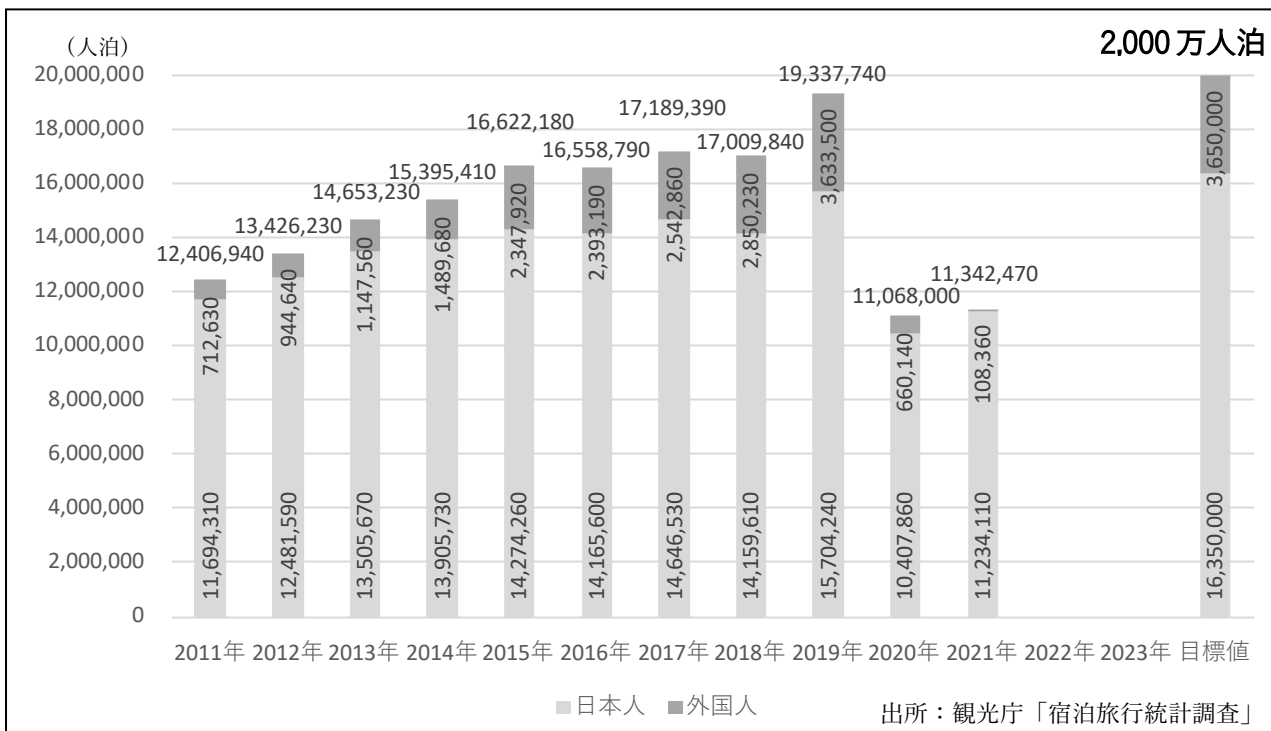


○来県外国人旅行者数

新型コロナウイルス感染症の影響により、必要な統計調査を行えなかったため、2021年は欠測。

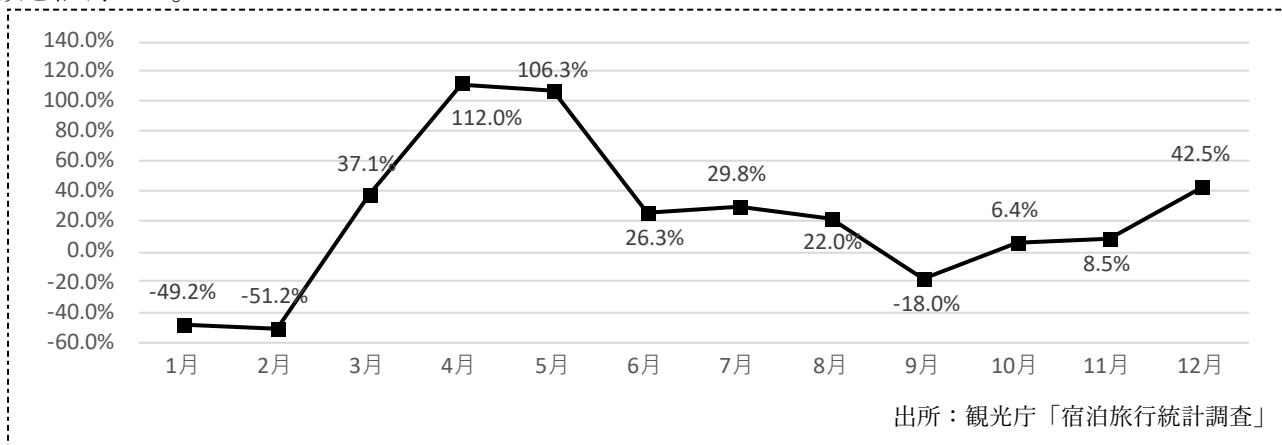


○延べ宿泊者数



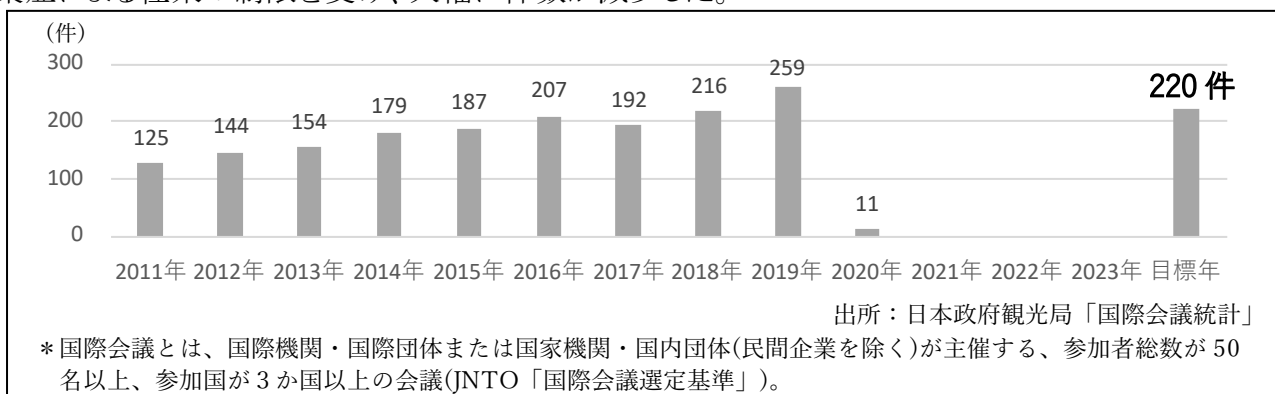
【参考】愛知県の延べ宿泊者数(日本人)の2021年/2020年同月比の推移

日本人については、前年(2020年)1・2月は感染症の影響が出る前であったため、前年同月を下回っているが、3月以降は感染症の第5波の影響があった9月を除き、前年同月を上回る宿泊者数を記録した。



○愛知県における国際会議開催件数

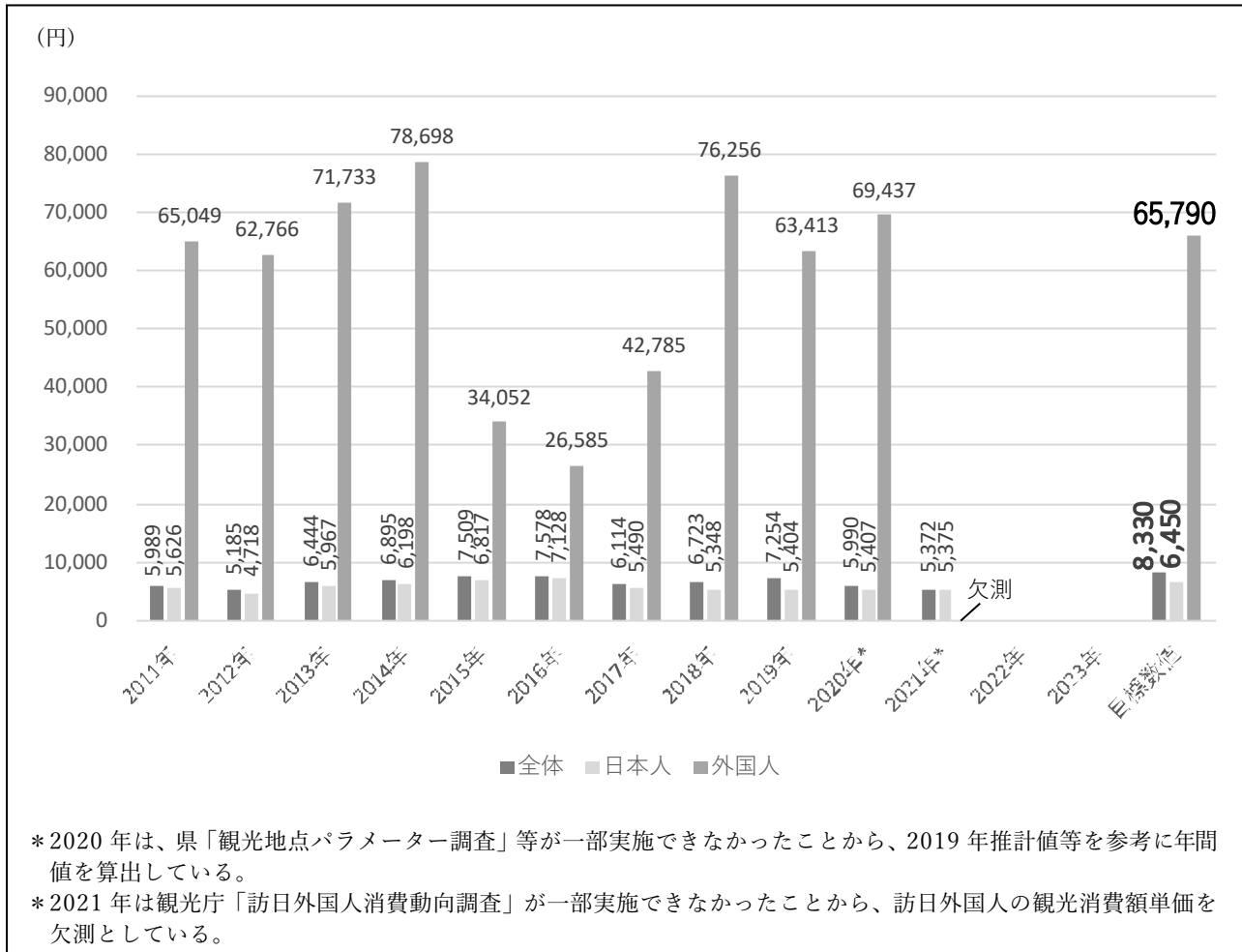
愛知県における国際会議の開催件数は増加傾向にあったが、2020年は、新型コロナウイルス感染症による往来の制限を受け、大幅に件数が減少した。



(3) 観光消費額単価【質】

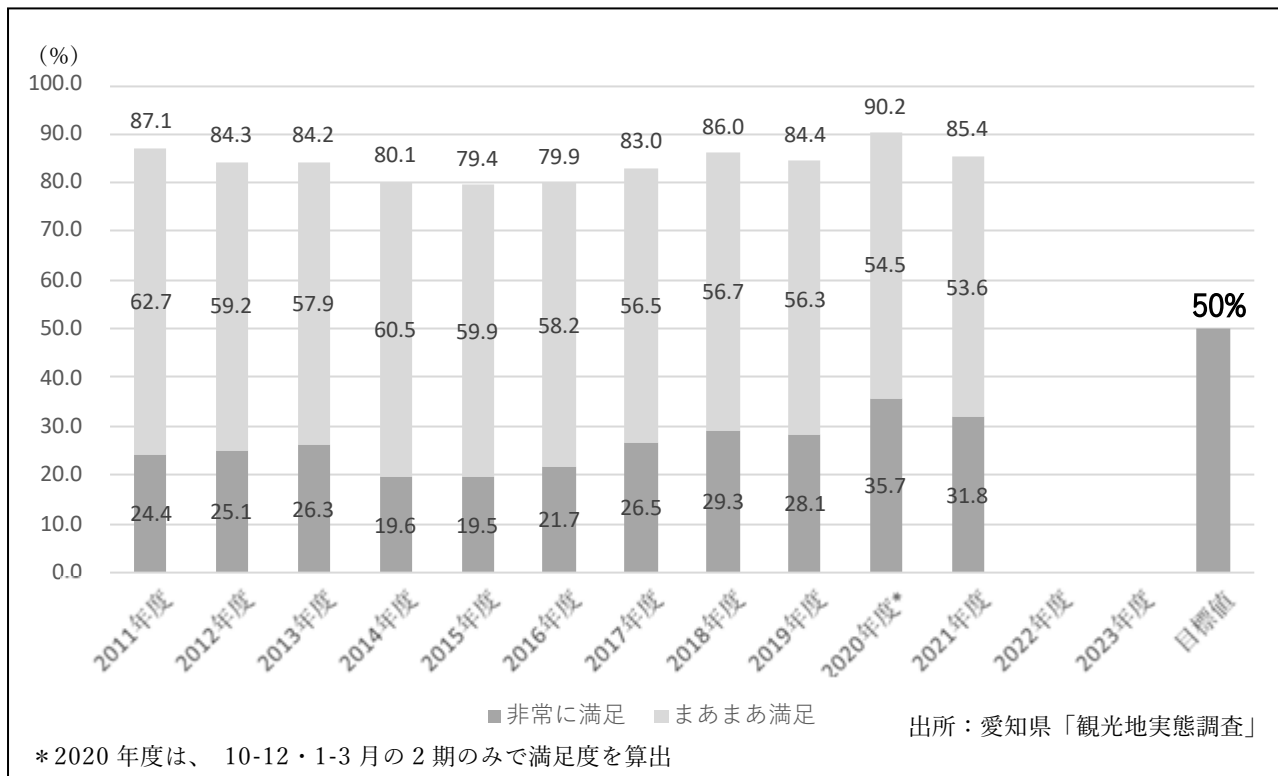
日本人の観光消費額単価について、新型コロナウイルス感染症の影響が出る前の 2019 年と比較して、県外在住者の宿泊が減少したことにより、単価が減少したと考えられる。

なお、外国人の観光消費額単価について、新型コロナウイルス感染症の影響により、必要な統計調査を行えなかったことから、欠測としている。



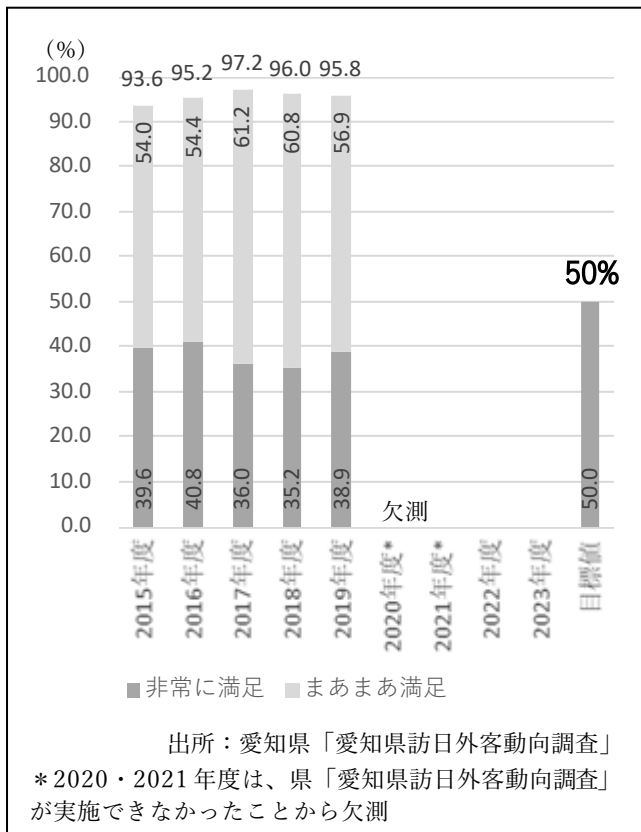
○満足度(全体)

「非常に満足」「まあまあ満足」と回答した人は前年度(2020年度)と比較して低下したが、新型コロナウイルス感染症の影響が出る前の2019年度と比較すると1.0ポイント増加している。



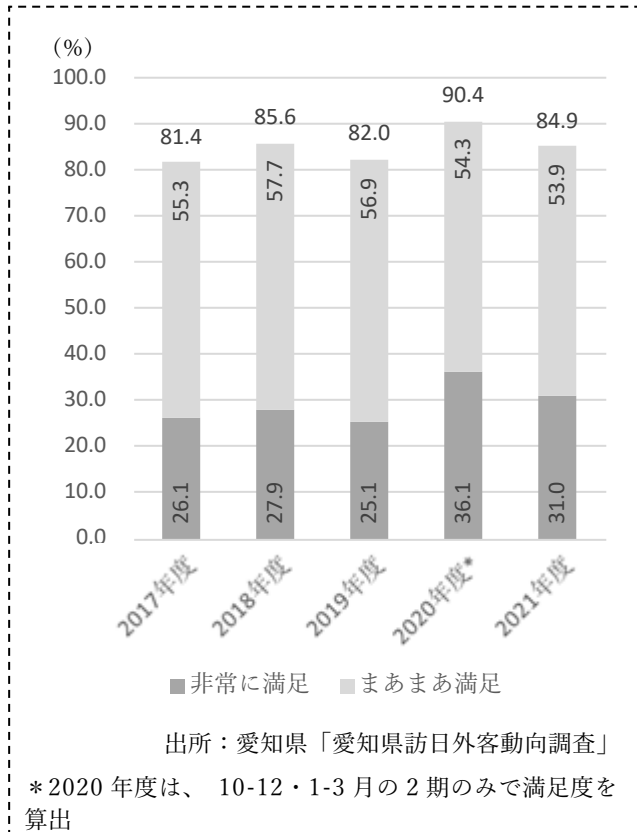
○満足度(外国人)

新型コロナウイルス感染症の影響により、必要な統計調査を行えなかったため、欠測。



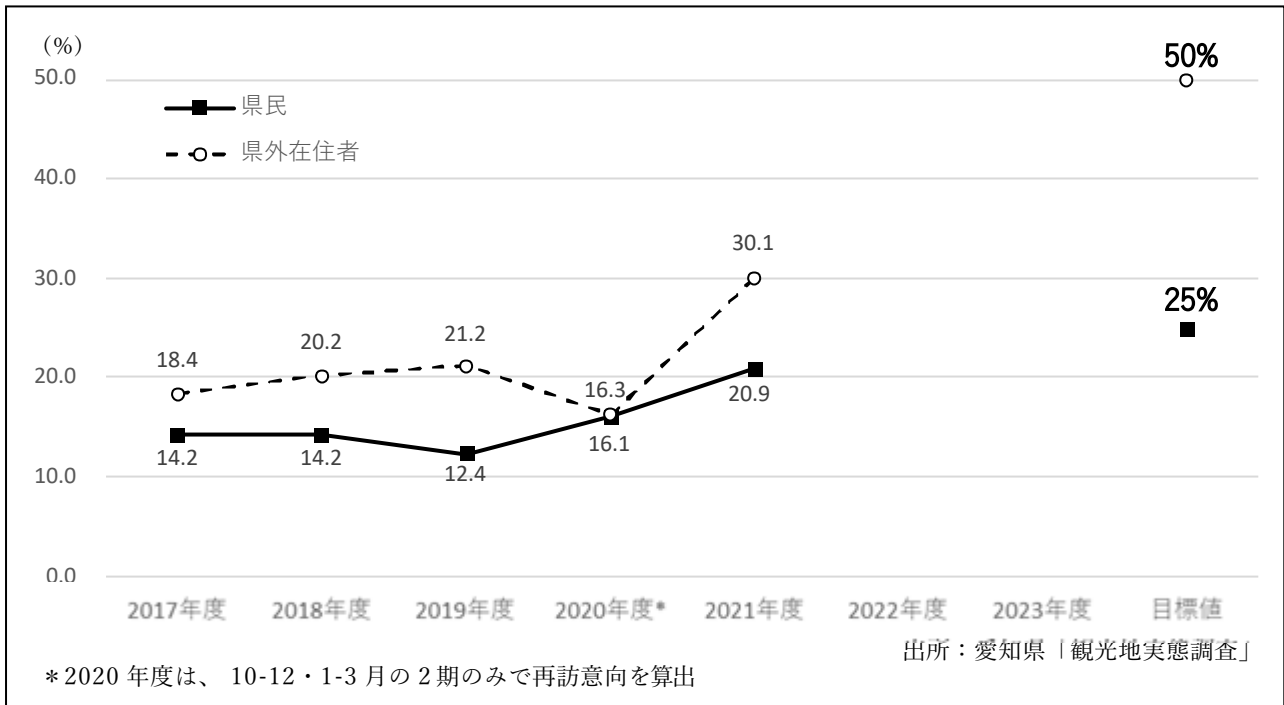
【参考：県内在住者満足度の推移】

統計を取り始めた2017年度以降、3番目の満足度となった。



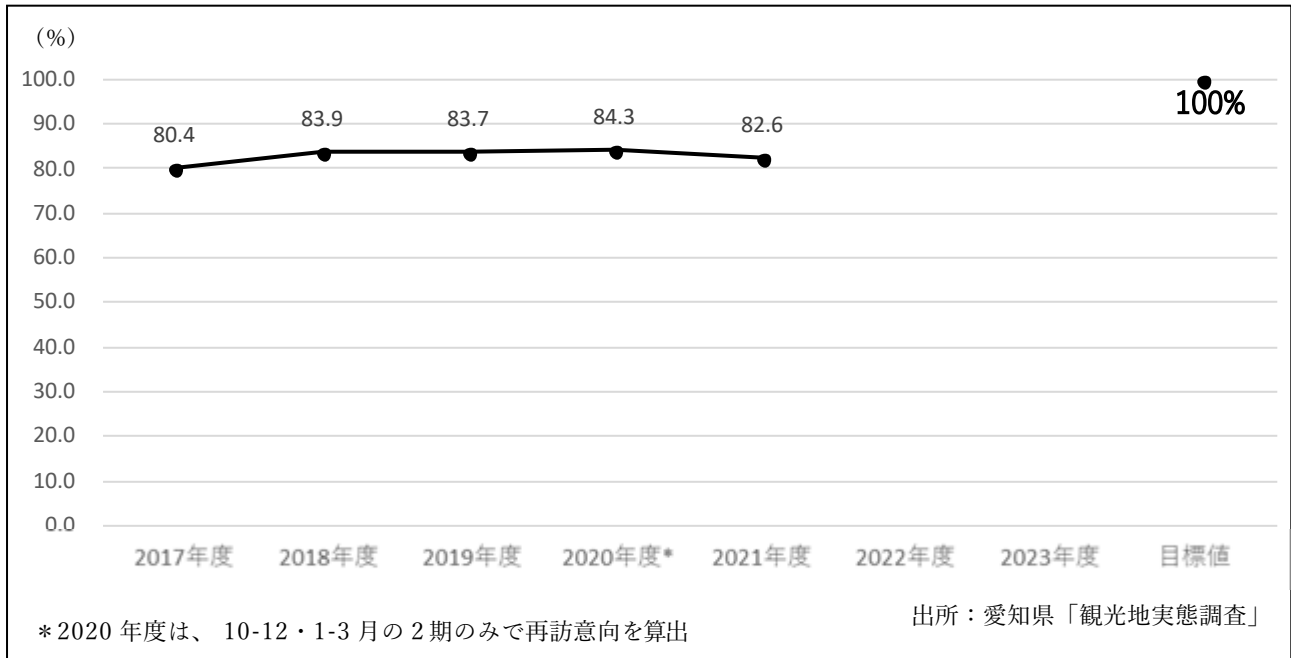
○推奨意向

「県民」、「県外在住者」とともに、前年度(2020年度)を上回っており、統計を取り始めた2017年度以降、最大の値となった。



○再訪意向

県外在住者の再訪意向は、前年度(2020年度)から1.7ポイント減少となった。



2 2021年度の観光振興施策の実施状況

※新型コロナウイルス感染症の影響により、施策の全部が中止となった事業は不掲載。

柱1 あいち「ツウ」リズムの推進

(1)愛知ならではの「ツウ」な魅力向上

①地域資源の着地型観光プログラム化の促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 市町村・地域観光協会が自らの地域資源を観光プログラムとして磨き上げ、カード化。
- ・ 愛知・名古屋観光誘客協議会がそれらのカードを取りまとめ、素材集として全国の旅行会社に発信。

《実績》

2022年度上期(2021年10月発行):約280件

2022年度下期(2022年4月発行):約190件

【TOPICS ①】地域発の着地型観光プログラムを収録した「旅行会社向け素材集」

愛知・名古屋観光誘客協議会(会長:愛知県観光コンベンション局長)では、半期に一度、旅行会社向け素材集を発行しています。この素材集に収録されている観光プログラムは、県内の自治体や観光協会、観光関連事業者等が企画したもので、協議会がそれらの観光プログラムを集約し、「ツウ」なテーマごとに分類した上で、商談会やWebサイトを通じて旅行会社に展開しています。2021年度は、上期版に36市町村から226プログラム(食事場所除く、以下同じ)、下期版に26市町から122プログラム(いずれも最終版掲載ベース)の提出がありました。

この素材集の発行は、誘客効果のみならず、地域資源の着地型観光プログラム化の促進や、地域自らの手によるプログラム造成能力の向上という効果ももたらしています。



②旅行者の興味・関心に合わせた着地型観光プログラムの開発促進

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 「ツウ」なテーマについて、ターゲットのプロファイルを作成。

《実績》

3つのテーマ(歴史、産業、自然)について、プロフェッショナルガイドの育成及びガイド付き旅行商品を造成・販売。

【地域観光資源販売促進】(観光振興課)

- ・ 地域の観光資源を顧客ニーズと旅行市場の実情に適うように商品化し、旅行会社(BtoB)、web(BtoC)で販売。

《実績》

参画市町村:16 市町村
造成商品数:26 商品

【着地型観光・ナイト観光プログラム促進】(観光振興課)

- ・ 市町村や地域観光協会、事業者が実施する着地型観光・ナイト観光プログラムを支援対象として採択し、最大 100 万円/件を支援した。

《実績》

採択実績:15 件(ナイト:12 件、着地型:3 件)

【インバウンド需要に対する県産農林水産物等の PR】(食育消費流通課)

- ・ インバウンド対応能力の向上に向けたセミナーの実施。
- ・ 外国人を対象とした農業観光ルート案のモニター調査や SNS 等による情報発信。

【「リニモ」の産業観光資源としての利活用】(交通対策課)

- ・ 愛知高速交通株式会社において、「リニモ体験乗車券」を販売。

【もりの学舎】(環境活動推進課)

- ・ 愛・地球博記念公園の環境学習施設「もりの学舎」及びその周辺フィールドにおいて、インタープリターによる自然体験や工作などの環境学習プログラムを実施。

③「ツウ」なテーマごとの市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 交通結節点から県内を周遊するテーマ性の高い日帰りバスツアーを造成・販売する愛知県内の旅行会社に対し、広告宣伝費の一部を助成。

《実績》

助成件数:2 社

【離島の振興】(地域振興室)

- ・ 情報誌・SNS 等を活用した離島の魅力発信及び関係人口の創出に向けた取組を推進。

【三河山間地域の魅力発信】(地域振興室)

- ・ 情報誌・SNS 等を活用した三河山間地域の魅力発信及び関係人口の創出に向けた取組を推進。

【インバウンド需要に対する県産農林水産物等の PR】(食育消費流通課)

- ・ インバウンド対応能力の向上に向けたセミナーの実施。
- ・ 外国人を対象とした農業観光ルート案のモニター調査や SNS 等による情報発信。

【食と花の街道】(農業振興課)

- ・ 「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広く PR することにより、都市と農村の交流人口の増加を促進。

【あいちの都市・農村交流ガイド】(農業振興課)

- ・ web サイト「あいち都市・農村交流ガイド」において、農林漁業・ものづくり体験や地域の食材を生かした食の堪能、農山漁村の生活を実感できるモデルルートを紹介。

【観光資源連携推進】(観光振興課)

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携してスタンプラリーを実施。

《実績》

参画施設(愛知県のみ) 掲載:69 施設、スタンプラリー対象 59 施設
スタンプラリー参加者:12,712 人

【あいち航空ミュージアムを含む共通券の販売】(航空空港課)

- ・ トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館及び岐阜かかみがはら航空宇宙博物館との共通券を販売。

④「ツウ」な魅力の多言語化

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」と SNS にて、多言語で情報発信。

《実績》

web サイト対応言語:日本語、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、タイ語
SNS:Facebook、Twitter、Weibo、Wechat、LINE、Instagram

【公式観光ガイドマップ制作】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知県の観光情報を提供する多言語の公式ガイドマップを制作。

《実績》

6 言語:50,000 部(日本語 26,000 部、英語:8,000 部、中国語(簡体字)4,000 部、
中国語(繁体字)5,000 部、韓国語 3,000 部、タイ語 4,000 部)

【広報誌・広報動画制作】(広報広聴課)

- ・ 2020 年度に制作した「あいちのトビラ」を経年修正し、多言語で発行。

《実績》

対応言語:日本語、英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語、タイ語、ベトナム語

【あいちの観光魅力発信(アジア向け)】(国際観光コンベンション課)

- ・ 多言語のパンフレットを作成し、中部国際空港観光案内所等で配布。

《実績》

英語:5,000 部、韓国語:4,000 部、中国語(繁体字):4,000 部

【東京オリンピック・パラリンピックに向けた体験型旅行商品 PR 動画制作】

(国際観光コンベンション課)

- ・ オンライントラベルエージェント(OTA)と連携して造成した訪日旅行者向け体験型旅行商品を紹介する動画を制作。
- ・ 当該動画を YouTube の TrueView インストリーム広告で配信。

《実績》

制作数:3 分×4 本 配信国:米国、英国、豪州 視聴回数:1,271,134 回

【外国人旅行者受入環境整備啓発】(国際観光コンベンション課)

- ・ 観光関係事業者が対象のセミナーで、デジタルマップの活用や資源の多言語化のモデルケースを紹介し、県内で取組が広がるよう啓発。

《実績》

オンラインセミナー:3 回実施

【観光地多言語化 web 整備】(国際観光コンベンション課)

- ・ 県内の一地域において、既存のアクセス MAP 等を活用し、位置情報を連動させたデジタルマップを構築し、施設案内等の多言語情報を提供。

《実績》

アクセス数:337 件

⑤各分野の専門家と連携した魅力の磨き上げ

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 感動レベルの体験コンテンツを商品化・販売するため、各カテゴリの有識者を招いた研修を実施。

【産業観光パンフレット作成】(観光振興課)

- ・ 産業に関して幅広い知見のある第一人者の監修を受けて、愛知県の産業観光に関するパンフレットを作成。

《実績》

作成部数:53,000 部

⑥歴史的遺産や文化財等の観光資源としての活用の促進

【武将観光情報発信(忍者観光創出)】(観光振興課)

- ・ 愛知県にゆかりのある忍者を活用した「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を結成して、愛知の観光 PR 隊として活動。

【武将観光情報発信(武将観光 PR 推進)】(観光振興課)

- ・ 武将観光パンフレットを増刷・配布。

【サムライ・ニンジャフェスティバル開催】(観光振興課)

- ・ 県内外からの観光誘客を図るとともに、全国に類を見ないほど武将観光資源に恵まれた本県の特性について、認知度を高めるため、全国の武将隊や忍者隊等が集結するイベントを開催。

《実績》

開催日:11/21 会場:大高緑地公園 来場者数:3 万人

【愛知のお城観光推進】(観光振興課)

- ・ 市町村の連携を深め、本県が全国に誇る「お城観光」の推進を図るため、城郭・城址の持つ価値の再発見を促すとともに、市町村同士の情報共有、広域かつ効率的な情報発信を実施。

【街道観光推進】(観光振興課)

- ・ 東海道 57 次の街道関係地域の連携・協力体制の強化を図るとともに、「街道」を鍵とした内外からの誘客を図り、街道観光を推進。

【あいち朝日遺跡ミュージアムの運営】(文化財室)

- ・ あいち朝日遺跡ミュージアムの運営、企画展の開催。

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

【「文化財ナビ愛知」を通じた文化財情報の発信】(文化財室)

- ・ 「文化財ナビ愛知」を通じた文化財情報の発信。

【文化財保存修理費補助金】(文化財室)

- ・国・県指定文化財の適切な維持管理のため、必要な保存修理費の一部を所有者に補助。

⑦産業博物館や文化・芸術施設の観光資源としての活用の促進

【産業観光パンフレット作成】(観光振興課) 再掲

- ・産業に関して幅広い知見のある第一人者の監修を受けて、愛知県の産業観光に関するパンフレットを作成。

【あいち航空ミュージアムの運営及びあいち航空ミュージアムを含む共通券の販売】(航空空港課)

- ・あいち航空ミュージアムにおいて、時機を捉えたイベントの企画やコンテンツの継続的な更新を実施。
- ・トヨタ産業技術記念館、トヨタ博物館及び岐阜かかみがはら航空宇宙博物館との共通券を販売。

【国際芸術祭「あいち 2022」の開催】(国際芸術祭推進室)

- ・国際芸術祭「あいち 2022」開催に向けた企画準備、広報・PRの実施。

【陶磁美術館の活用】(文化芸術課)

- ・陶製狛犬や現代陶芸を活かした常設展、企画展等の開催や SNS による発信。

⑧地域の歴史、産業、自然、文化等をテーマとした、県民向けの学習機会の提供

【伝統文化出張講座】(文化財室)

- ・小・中学校の授業等で、地域の民俗芸能保存団体と交流し、芸能の鑑賞だけでなく、体験・練習及び発表を通じて伝承活動を支援。

《実績》

開催校数:5校

⑨「ツウ」な魅力を伝えるガイドの育成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課) 再掲

- ・本県の「ツウ」なテーマのうち、主たる3つ(歴史、産業、自然)について作成したターゲットに基づき、感動レベルの体験コンテンツを提供できるプロフェッショナルガイドを育成。

【産業観光あないびと育成】(観光振興課)

- ・観光ボランティアガイドを始めとする地域で活躍している方を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

《実績》

参加者:42名

(2)効果的なPR・プロモーション

①デジタルマーケティングの実施

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・観光誘客を行う上で機会損失となっている旅行行動の段階を明らかにするとともに、データに基づいて、訴求すべき「ツウ」ジャンルとターゲットを特定し、今後の観光施策の検討につなげる目的で分析を行った。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・ ジブリパークチケット購入者データやパーク来園者の位置情報データから属性、行動分析を行いマーケティングに活用する準備を行った。

【中央日本総合観光機構】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 9 県の自治体・観光関係事業者と連携し、コンテンツ・パッケージ・プラットフォーム(CPP)及び・データ・マネジメント・プラットフォーム(DMP)を構築。

②運輸機関(鉄道・航空・空港・高速道路会社等)・旅行業者との連携

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ JR 東海と連携し、地域資源を活かした「冷やし旅」キャンペーンを開催。
- ・ JR 東海の EX サービスで同社が販売する「愛知満喫パス」を支援し、新幹線沿線からの誘客を促進。
- ・ 国内の旅行会社を対象にした商談会を開催し、本県を訪れるツアーの造成を促進。

《実績》

商談会参加旅行会社 春:60 社、秋:70 社

- ・ 一定の要件を満たした旅行会社に対し助成金を交付することで、本県を訪れるツアーの造成を促進。

《実績》

交付件数:71 社 *旅行商品造成支援事業(エクスカーションを除く)

【TOPICS②】JR 東海と連携した「あいち冷やし旅キャンペーン」の開催

県では、2021 年 7~9 月に、JR 東海と連携して「あいち冷やし旅キャンペーン」を開催しました。地域から提案があった、冷たいグルメや涼しい体験、肝を冷やすプログラム等を県が集約し、パンフレットや特設 Web サイトで紹介するとともに、JR 東海にも提案。JR 東海では、首都圏方面で売れそうなプログラム等をピックアップした上で、主要旅行会社とともに往復新幹線と宿泊をセットにして販売しました。本県への送客力がある運輸機関および旅行会社と連携したことにより、コロナ禍にあっても一定の送客効果があったほか、JR 東海による PR も注目を集めました。



【中部国際空港観光案内実施協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 5 県 1 市が共同で、中部国際空港の観光案内所を運営。

《実績》

利用者数:4,050 件

【中部国際空港観光案内実施(愛知の観光情報放映)】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部国際空港 4 階に設置された大型ビジョンで、本県の観光 PR 映像を放映。

【中部国際空港利用促進協議会と連携した情報発信】(航空空港課)

- ・ web や SNS を活用した中部地域の観光情報やイベント情報の発信。

【県営名古屋空港協議会と連携した PR・プロモーション】(航空空港課)

- ・ web や SNS を通じて空港や路線の PR を実施。

【高速道路を活用した誘客促進】(観光振興課)

- ・ NEXCO 中日本と連携し、県内の宿泊施設、観光施設の入場、お土産品の購入、お食事などで利用できる観光商品券がセットになったドライブプランを販売。

《実績》

販売件数:453 件

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(観光振興課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」に旅行会社・メディア向けサブサイト「Aichi Now PRO」を開設・運営し、旅行会社等に対し情報を発信。

【地域観光資源販売促進】(観光振興課)

- ・ 地域資源を取り込んだ着地型観光プログラムを web で個人向けに販売するだけでなく、旅行会社に対して組み込みを提案。

《実績》

造成プログラム:7 件

【中国 OTA 連携】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中国オンライントラベルエージェント(OTA)最大手の Trip.com 社と連携し、同社の媒体を活用した PR と SNS での情報発信を実施。

《実績》

PR キャンペーン(フォトスナップキャンペーン)応募数:約 950 件

【台湾 FIT 連携】(国際観光コンベンション課)

- ・ 台湾現地旅行会社へのニュースレターの配信。

《実績》

旅行会社等 154 社へ2回配信

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知県内の市町と連携し、中国市場向けオンライントラベルエージェント(OTA)からの情報発信。

《実績》

発信件数:28 回

③メディアへの情報発信、メディアとの連携

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(観光振興課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」に旅行会社・メディア向けサブサイト「Aichi Now PRO」を開設・運営し、メディアに対し情報を発信。

【女子旅誘致プロモーション】(観光振興課)

- ・ 女性をターゲットとした情報発信を実施。

《実績》

掲載実績:テレビ 24 件、ラジオ 3 件、新聞 56 件、雑誌 7 件、web メディア 284 件

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 一定の要件を満たしたメディアに対し取材費の助成金を交付することで、本県の観光情報のメディアでの取り上げを促進。

《実績》

交付件数:6社 *メディアのみ

【東京オリンピック・パラリンピックに向けた体験型旅行商品 PR 動画制作】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ OTA と連携して作成した訪日旅行者向け体験型旅行商品を紹介する動画を制作。
- ・ 当該動画を YouTube の TrueView インストリーム広告で配信。

【街道観光推進】(観光振興課)

- ・ 昨今人気の高い町歩き番組等とコラボレーションし、ロケを誘致することにより、視聴者に向け、本県の街道観光の魅力を PR。

《実績》

件数:3番組[4放映]

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 日本国内のムスリムメディアを招請し、県内視察を実施。招請後 SNS 等において情報発信。

《実績》

掲載数:web サイト4件、SNS108件

④ SNS、web を活用した情報発信

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」や公式 SNS でスポット紹介やイベント情報を発信した。

《実績》

ページビュー数:10,574,682ビュー

【観光施設等登録】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」で紹介している観光スポットについて、Tripadvisor 及び Google ビジネスプロフィールのオーナー未登録事業者の代行登録を実施。

《実績》

登録件数:Tripadvisor 554件、Google ビジネスプロフィール 523件

【TOPICS③】デジタル空間で、しっかりプレゼンスを

本県が、Tripadvisor 及び Google ビジネスプロフィールのオーナー未登録の事業者について、代行登録を実施したのは、旅マエにおける情報収集や予約、旅ナカにおけるルート検索や SNS への投稿、旅アトにおける写真の保存・共有まで、旅行にまつわる行動のほとんどがスマートフォン上で行われるようになり、スマートフォン上に表示されなかったり、情報が不足していたりする観光スポットは、旅行者に選択されない可能性が高まっていることが背景にあります。

「あいち観光戦略 2021-2023」では、基本的な方針のひとつとして、「EBPM の実践とデジタルの活用」を掲げており、今後もデジタルを活用した効果的な PR・プロモーションを実施していきます。

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・ 「YouTube 動画広告」「web バナー広告」「Instagram 広告」配信を行い、愛知の公式観光サイト「Aichi Now」内の「あいち『ツウ』リズム特設ページ」へ誘導。

【なごやめしの普及促進】(観光振興課)

- ・名古屋市等とともに設立した「なごやめし普及促進協議会」を通じ、なごやめしの魅力を国内外に向けて発信することで、本県への一層の誘客促進を図った。

《実績》

劇場版「コナン」と連携し、なごやめしに関して、ツイッターでの PR やパンフレットの制作・配布

【ミシュランガイド英語版サイト運営】(国際観光コンベンション課)

- ・岐阜県・三重県とともに、2019年に発行された『ミシュランガイド愛知・岐阜・三重 2019 特別版』の内容を掲載した英語版 web サイトの運営を委託により実施。

《実績》

ページビュー数:341,040 ビュー

【欧米豪向けプロモーション】(国際観光コンベンション課)

- ・在京のメディアを招請し、県内観光スポット等の視察を実施。視察後には体験記事をインバウンド向け web サイトで発信。

【韓国向け web プロモーション】(国際観光コンベンション課)

- ・韓国の個人旅行者(FIT)に影響力を有するインフルエンサー等による情報発信。

《実績》

国内在住インフルエンサー等3名を招請し、SNS 等において情報発信

【観光地多言語化 web 整備】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・県内の一地域において、既存のアクセス MAP 等を活用し、位置情報を連動させたデジタルマップを構築し、施設案内等の多言語情報を提供。

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・東海 4 県 2 市と連携し、中国市場向けプロモーションとしてメディア・ライター招請、インフルエンサー招請、台湾市場向けプロモーションとしてメディア・ライター招請、SNS 広告により東海エリアへの誘客を促進。
- ・愛知県内の市町と連携し、台湾・タイ市場向けに web メディアによる情報発信、中国市場向けに SNS による情報発信を実施し、誘客を促進。

⑤首都圏・関西圏でのプロモーション

【首都圏・関西圏プロモーション推進(愛知の観光物産展開催)】(観光振興課)

- ・愛知の観光物産展を継続開催し、他局・市町村・事業者とも連携して効果的に首都圏・関西圏在住者に向けて県内の物産・観光の魅力を PR。

《実績》

開催日:4/3~4 会場:イオンレイクタウン(埼玉) 来場者:2,464 人

【首都圏・関西圏プロモーション推進(情報発信)】(観光振興課)

- ・観光プロモーション公式サイト「こってり愛知 de 首都圏」及びフェイスブックの効果的な運用により首都圏在住者に向けて愛知の魅力を発信。
- ・首都圏のパンフレットラックの活用等により、首都圏在住者に向けて愛知の魅力を発信。

【首都圏・関西圏プロモーション推進(プロモーション活動)】(観光振興課)

- ・「ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業」の登録企業・店舗へのステッカー、ポスター等の送付。

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・JR 東海と連携し、地域資源を活かした「冷やし旅」キャンペーンを開催するにあたり、JR 東海が首都圏の東海道新幹線駅で PR。

⑥観光 PR キャラクターを活用した PR(観光振興課)

【首都圏・関西圏プロモーション推進(観光 PR キャラクター)】

- ・ 蒲郡市で撮影が行われた映画「ゾッキ」の監督である竹中直人、山田孝之、斎藤工を活用したポスターを制作。

⑦海外観光レップを活用した PR・プロモーション

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外の現地事情に精通した「観光レップ」を 6 か国(タイ、ベトナム、インドネシア、アメリカ、フランス、オーストラリア)に設置し、現地旅行会社・メディアへのセールス活動や現地市場調査、メディア及び旅行会社を対象にしたセミナーを開催。

《実績》

セミナー開催件数:アメリカ、フランス、オーストラリア 各国 1 回

⑧「ツウ」なテーマに特化したイベントの開催・出展・支援

【サムライ・ニンジャフェスティバル開催】(観光振興課) 再掲

- ・ 全国に類を見ないほど武将観光資源に恵まれた本県の実情について、認知度を高めるため、全国の武将隊や忍者隊等が集結するイベントを開催。

【愛知のお城観光推進】(観光振興課)

- ・ 本県でお城 EXPO と連携した城郭イベント「にっぽん城まつり」を開催。

《実績》

開催日:3/19~20 会場:Aichi Sky Expo 参加者:6,775 人

【ポップカルチャーイベント開催】(観光振興課)

- ・ 愛知県をポップカルチャー観光の聖地として認知度向上を図るため、「世界コスプレサミット」を併催する形で、「あいちポップカルチャーフェスティバル」を開催。

《実績》

開催日:8/7~8 会場:中部電力 MIRAI TOWER、久屋大通公園、オアシス 21 *ハイブリッド開催
参加者/来場者:15,000 人

【世界コスプレサミット実行委員会負担金】(観光振興課)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい運営を迫られている「世界コスプレサミット」の開催を支援するため、名古屋市と協調して費用の一部を負担。

《実績》

開催日:8/7~8 会場:中部電力 MIRAI TOWER、久屋大通公園、オアシス 21 *ハイブリッド開催
参加者/来場者:117,470 人(32 の国と地域)

【にっぽんど真ん中祭り開催負担金】(観光振興課)

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい運営を迫られている「にっぽんど真ん中祭り(どまつり)」の開催を支援するため、名古屋市と協調して費用の一部を負担。

《実績》

開催日:8/26~29 会場:久屋大通公園 他*ハイブリッド開催
テレどまつり参加チーム:433 チーム(14 の国と地域)

【杉原千畝顕彰】(教育企画室)

- ・ 杉原千畝氏の人的功績を広く発信するため、有識者による講演会を開催。

⑨県民による魅力発信の促進

【東三河「新しい人の流れ」創出】(東三河総局)

- ・ 2019 年度に作成した、東三河地域の観光 PR 動画を活用した web 広告を実施。

⑩海外公館や JNTO 等を通じた PR・プロモーション

【クレア海外事務所を通じた情報発信の支援】(国際課)

- ・ クレア海外事務所が所管する各都市で開催される各種旅行博覧会等への企業等の出展サポート、自治体観光 PRなどを支援。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ JNTO 主催海外セミナー・商談会への参加。

《実績》

中国〔インセンティブ旅行セミナー〕:10/20 旅行社 83 社・117 名参加 17 社へ資料提供

タイ〔インセンティブ旅行商談会〕:11/2 21 社・25 名参加 8 件商談

インドネシア〔インセンティブ旅行商談会〕:11/17 20 社・28 名参加 8 件商談

シンガポール〔インセンティブ旅行商談会〕:12/7 22 社 22 名参加 8 件商談

台北〔インセンティブ旅行商談会〕:2/9 22 社・22 名+メディア3社参加 8 件商談

台湾中南部〔インセンティブ旅行商談会〕:2/10 19 社・20 名参加 8 件商談

*全てオンライン開催

⑪友好提携・相互交流を通じた魅力発信

【タイ語 web サイト及びフェイスブックの運営】(国際課)

- ・ タイ語 web サイト及びフェイスブックを運営。

⑫フィルムコミッションを通じた PR・プロモーション

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

- ・ ロケ地フェアへの出展、制作会社へのセールス。
- ・ 県内で撮影された作品のロケ地を紹介するパネル展の開催、ロケ地マップの作成

《実績》

ロケ地マップを 2 作品で作成し(計 29,500 部)、映画館に配架。

⑬県内企業を通じた情報発信、県内企業との連携

【包括協定を締結した各社店舗等での情報発信】(商業流通課)

- ・ 包括協定を締結しているコンビニエンスストアやスーパーの店舗で、パンフレットやポスターを通じて観光情報を発信。

【首都圏・関西圏プロモーション推進(プロモーション活動)】(観光振興課)

- ・ 「ハート・オブ・ジャパンあいち応援企業」の登録企業・店舗へのステッカー等の送付。

⑭県人会・在住外国人等を通じた情報発信

【県人会を通じた県政 PR の推進】(県民総務課)

- ・ 各県人会総会等の機会を利用して、観光情報・県政情報の PR や県政への協力を依頼。
- ・ 各県人会が推薦する者に「愛知ふるさと大使」を委嘱し、出身県及び現在住んでいる県等において、積極的な観光情報の発信や愛知県政 PR 活動を依頼。

柱 2 受入れ体制の整備・充実

(1)多言語化の促進等による利便性の向上

①宿泊施設や立ち寄り施設等の多言語化の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 利用登録した観光事業者に対して、外国語による施設案内表示等に対する翻訳サービスを提供。

《実績》

サービス提供件数:209 件

②案内標識・案内板等の多言語化の促進

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ 市町村が設置する観光施設の観光案内板・誘導標識等の多言語化に対する補助事業を実施。

《実績》

補助件数:9 件

③接客現場における多言語対応の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 利用登録した観光事業者に対して、外国人旅行者との接客時における電話等を利用した通訳サービスを提供。

④無料公衆無線 LAN の整備促進・利便性向上

【あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会の運営】(情報政策課)

- ・ 無料公衆無線 LAN 環境の普及促進のため、あいち無料公衆無線 LAN 推進協議会を通じて、県内の整備状況の調査や設置勧奨、周知・広報活動等を実施。

【無料公衆無線 LAN 接続簡易化】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2019 年度に開発した、「Aichi Free Wi-Fi Connect」の配信、保守管理。

(2)多様な宗教・信条等への対応支援

①特別な配慮が必要な宗教・信条等への対応の支援

【ムスリム誘客促進】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ 日本国内のムスリムメディアを招請し、県内視察を実施。招請後 SNS 等において情報発信。

(3)多様な旅行・宿泊ニーズへの対応

①高級ホテルの誘致

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ ハイレベルな国際会議の開催や海外の富裕層旅行者等の誘致に向けた高級ホテルの立地を促進。
- ・ 補助事業認定審査における参考とするため、高級ホテル立地促進補助金評価委員会を開催し、有識者から意見を聴取。

- ・ 補助事業の認定。

《実績》

TIAD (ティアド)	2021年2月事業認定、2023年7月開業予定
コンラッド名古屋	2021年9月事業認定、2026年8月開業予定
(仮称) エスパシオ ナゴヤキャッスル	2021年9月事業認定、2025年春開業予定

②ワーケーション・ブレジャー客の取り込み

【テレワーク・ワーケーションの促進】(地域振興室)

- ・ 三河山間地域における、テレワーク・ワーケーションの促進のためのニーズ調査、情報発信、環境整備支援を実施。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 名古屋商工会議所と連携し、ブレジャーに関する意識調査及びブレジャー推進セミナーを実施。

【宿泊事業者感染防止対策】(国際観光コンベンション課)

- ・ 宿泊施設が前向き投資の一環として行うワーケーション整備に対して、その経費の一部を補助。

《実績》

補助件数:62件

③ナイト観光プログラムの開発促進

【着地型観光・ナイト観光プログラム促進】(観光振興課) 再掲

- ・ 市町村や地域観光協会、事業者が実施する着地型観光・ナイト観光プログラムを支援対象として採択し、最大100万円/件を支援。

(4)ユニバーサルツーリズムの推進

①バリアフリー化への支援

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ 市町村が設置する観光施設のバリアフリー化に対する補助事業の実施。

《実績》

補助件数:9件

②バリアフリー情報の発信

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(観光振興課)

- ・ 「Aichi Now」掲載施設のうち、バリアフリー状況の掲載が望まれる施設について、2019年度に追記したバリアフリー情報を継続発信。

(5)旅行者の安全・安心の確保

①災害時における外国人旅行者への多言語での情報発信

【愛知県救急医療情報システムによる外国人への医療情報提供の実施】(医務課)

- ・ 外国語対応可能な医療機関に関する情報を、音声及びFAXでは5ヶ国語(英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語、韓国語)、インターネットでは4ヶ国語(英語、中国語、韓国語、ポルトガル語)による外国語表示機能により提供。

【愛知県災害多言語支援センター設置】(多文化共生推進室)

- ・ 愛知県災害多言語支援センターにおいて、市町村職員や市町村国際交流協会職員等を対象に、災害時の外国人支援に関する知識を習得するための講座を開催。

《実績》

- ・センター設置訓練
- ・災害時外国人支援活動講座
オンライン講座 配信期間:1/21~3/3
ワークショップ(オンライン開催)

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 災害発生時に「Aichi Now」において、多言語で必要な情報を発信。
- ・ 県内観光関係者向けサイト「Aichi Now BIZ」に、観光庁「自然災害発生時の訪日外国人旅行者への初動対応マニュアル策定ガイドライン」及び同「訪日外国人旅行者の安全確保のための手引き」に関する情報を掲載し、周知。

【中部国際空港観光案内実施協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部国際空港案内所や案内所 SNS にて、災害時に災害情報を発信。

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 災害発生時、訪日外国人への情報提供手段として通訳サービスを提供。

②感染症への対応状況の見える化の推進

【観光事業者等感染症対策支援】(観光振興課)

- ・ 旅行者に安心して県内周遊をしてもらうため、観光施設等の新型コロナウイルス対策の情報提供を行うホームを制作、運営。

③宿泊施設や立ち寄り施設等への対応マニュアルの普及

【観光事業者等感染症対策支援】(観光振興課)

- ・ 観光や医療分野等の専門家を招聘し、県内観光事業者等を対象として、具体的な新型コロナウイルス対策を中心テーマとしたセミナーを開催。

《実績》

開催回数:4回

柱 3 観光交流拠点としての機能強化

(1) 周遊観光・広域観光の推進

① 交通結節点からの周遊観光・広域観光の推進

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」において、交通結節点からのモデルコースを紹介。

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課) 再掲

- ・ 交通結節点から県内を周遊するテーマ性の高い日帰りバスツアーを造成・販売する愛知県内の旅行会社に対し、広告宣伝費の一部を助成。(交付実績:2社)
- ・ JR 東海と連携し、新幹線駅からの周遊観光を促す「冷やし旅」キャンペーンを開催。
- ・ JR 東海の EX サービスで同社が販売する「愛知満喫パス」を支援し、新幹線駅からの周遊観光を促進。

② ジブリパークを活用した誘客、周遊観光の促進

【ジブリパーク構想地域連携協議会の活動の推進】(ジブリパーク推進課)

- ・ 2022 年 11 月に開園するジブリパークを核に、愛・地球博記念公園周辺の自治体及び鉄道事業者が一体的・有機的な連携を図り、地域活性化に向けた協力関係を構築することで、ジブリパークを活かした周辺地域の更なる発展・活性化を推進。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・ ジブリパークを核とした周遊観光に係る全体計画の策定。
- ・ ジブリパーク来園者のデータ等を提供するシステムの構築。
- ・ 「ジブリパークのある愛知」をイメージした、キービジュアルと動画『風になって、遊ぼう。』を制作。

【TOPICS④】スタジオジブリが初めて手掛けた観光動画「風になって、遊ぼう。」

ジブリパーク来園客を、ジブリパークはもとより、愛知県内各地への周遊や宿泊につなげるために、愛知県からの依頼により、スタジオジブリが制作した動画。県内各地の魅力を単に紙芝居的に見せるのではなく、主人公の少女が「風になって」駆け巡るストーリー仕立ての構成になっています。2022 年 1 月の公開

直後から好評を博し、2021 年度末までに YouTube での再生回数は 35 万回以上に達しました。この動画は、2022 年度以降も、首都圏・関西圏・名古屋のデジタルサイネージや映画館等で上映していきます。



©Studio Ghibli

【沿線地域活性化・地域活力創出】(交通対策課)

- ・ 東部丘陵線連絡協議会の活動を通して、リニモ沿線地域づくり構想の推進に取り組み、沿線地域の活性化を推進。
- ・ リニモの利用促進のため、沿線イベントの実施等の取組を断続的に行う。

③中央日本総合観光機構や東海地区外国人観光客誘致促進協議会等の広域連携事業体を通じた取組の推進

【中央日本総合観光機構】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 9 県の自治体・観光関係事業者と連携し事業を実施。

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 東海 4 県 2 市と連携してシンガポール、中国、台湾の各市場に向けたプロモーションを実施。
- ・ 愛知県内の市町と連携し、ファムトリップ、情報発信を実施。

④近隣県等を含んだ周遊の促進

【観光資源連携推進】(観光振興課) 再掲

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携してスタンプラリーを実施。

⑤リニア中央新幹線の開業を見据えた周遊観光・広域観光の検討

【東海道新幹線ひかりこだま停車駅、リニア中間駅へのアクセス向上に向けた取組】(交通対策課)

- ・ 東海道新幹線を活用した交流の拡大策の検討。

(2)航空路線・外航クルーズ船の誘致

①ポートセールス等を通じた外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 名古屋港におけるクルーズ業界や船社等に関する調査情報収集。
- ・ 三河港におけるランドオペレーターへの招請。

(3)モビリティ・マネジメント

①企画きっぷの開発促進

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・ 効果的な企画きっぷのあり方を検討。

②MaaS の普及促進

【マルチモーダルサービス導入実証】(交通対策課)

- ・ 名古屋東部丘陵地域を中心とする地域を対象とした MaaS の導入に向けた実証実験の実施。

(4)交通インフラの整備

①リニア中央新幹線の整備促進

【期成同盟会による早期整備に向けた国等への働きかけや啓発等】(交通対策課)

- ・ 期成同盟会(国・県)を通じた要望、調整、啓発活動 等

②中部国際空港の第二滑走路の整備促進

【中部国際空港の第二滑走路の整備を始めとする機能強化に向けた取組の推進】(航空空港課)

- ・ 中部国際空港の第二滑走路の早期実現に向けた国への働きかけ等

③広域幹線道路の整備促進

【広域幹線道路の整備促進】(道路建設課)

- ・ 観光地間の有機的なネットワーク化を図るため、三遠南信自動車道等の整備推進を国へ要望。

柱 4 MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用

(1)国際会議・展示会の誘致・開催

①国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 国際 MICE エキスポ(IME2022)への出展。(オンライン開催)

《実績》

商談件数:12 件

②JNTO 主催セミナー・商談会への参加

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ JNTO 主催シンガポールMICEセミナー商談会への参加。

《実績》

参加者(MICE プランナー等):20 社 20 名、商談件数:4 件

③国際会議・展示会の開催支援

【SDGs 関連国際会議開催支援】(企画課)

- ・ 国連地域開発センター、環境省、国土交通省の主催により 2021 年秋に開催された SDGs 関連国際会議「持続可能で強靱な都市・交通に関する国際会議 Aichi2021」の開催支援。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 大規模 MICE 参加者に対するおもてなしを図るため、レセプション開催支援やギブアウェイを提供。

④ユニーク・ベニユーの把握・発掘と活用の促進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 「愛知・名古屋ユニークベニユーガイド」の掲載情報更新、電子ブック化、配布、公開。

⑤グローバルインダストリー日本版の開催支援

【展示会産業振興基金 官民連携組織運営】(国際展示場室)

- ・ 主催者である GL イベントとの連絡調整。

⑥高級ホテルの誘致

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ ハイレベルな国際会議の開催や海外の富裕層旅行者等の誘致に向けた高級ホテルの立地を促進。

⑦国際会議等の誘致

【日台観光サミット誘致推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2023 年に国内で開催される日台観光サミットの本県への誘致を推進。

【国内キーパーソン対象誘致活動(G7 サミット及び関係閣僚会合の誘致)】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2023 年に国会で開催される G7 サミット及び関係閣僚会合を名古屋市と連携して誘致。

⑧Aichi Sky Expo の活用

【愛知県国際展示場管理運営 国際展示場の管理・運営】(国際展示場室)

- ・ 国際展示場の利用促進に向けた PR 等。

【展示会産業振興基金 官民連携組織運営】(国際展示場室)

- ・ 官民連携による需要創造事業を実施
 - 地域プロモーションの実施。
 - 催事の開催支援。(アクセス支援)
 - 展示会等の企画・開催。

【TOPICS ⑤】Aichi Sky Expo で「FOOMA JAPAN 2021」開催

食品製造・加工機械を中心に、食に関する分野を網羅したアジア最大級の総合展示会「FOOMA JAPAN」(主催:一般社団法人日本食品機械工業会)が、首都圏以外では初めて、2021 年 6 月に愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)を全館使用して開催されました。

また、これにあわせ、常滑商工会議所と愛知国際会議展示場株式会社が連携し、屋外特設会場で「食の見本市 in 知多半島」を開催したほか、常滑市の人気レストラン「Le coeuryuzu(ル・クーリュズ)」シェフが、知多半島の地産食材を使った料理を提供するレストラン「C' est Bon ! CHITA(セボン知多)」を特別オープンし、本県の食の魅力も大いに発信されました。



FOOMA JAPAN2021



C' est Bon ! CHITA

(2)イベントの誘致・開催

①ツーリズム EXPO ジャパンの誘致

【国際会議等誘致推進 ツーリズム EXPO ジャパンの誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 国内最大の旅行博である「ツーリズム EXPO ジャパン」の 2024 年以降の開催を誘致。

②ロボカップアジアパシフィック 2021 あいちの開催

【ロボカップアジアパシフィック 2021 あいちの開催】(次世代産業室)

- ・ 「ロボカップアジアパシフィック 2021 あいち」の開催

③ワールドロボットサミット 2020 の開催支援

【ワールドロボットサミット 2020 の開催支援】(ロボット国際大会推進室)

- ・ 「ワールドロボットサミット 2020」の開催支援。

④伝統的工芸品月間国民会議全国大会の開催

【第 38 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会の開催】(産業振興課)

- ・ 「第 38 回伝統的工芸品月間国民会議全国大会」の開催。

⑤技能五輪国際大会の招致

【技能五輪国際大会の招致】(産業人材育成課)

- ・ 招致機運を盛り上げるオンライントークイベント等を開催。

⑥音楽コンサートの誘致

【音楽コンサート開催支援事業費補助金】(国際展示場室)

- ・ Aichi Sky Expo の展示ホールで開催される音楽コンサートの会場利用料相当を補助。

《実績》

補助件数:5 件(上限 12,000 千円)

(3)インセンティブツアーの誘致

①国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ 国際 MICE エキスポ(IME2022)への出展。(オンライン開催)

②JNTO 主催セミナー・商談会への参加

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ JNTO 主催海外セミナー・商談会への参加。

《実績》

中国、タイ、インドネシア、シンガポール、台湾

③旅行会社等の招請

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外の MICE プランナーを対象に、当地域の強みであるテクニカルビジット(産業視察)のオンラインツアーを実施。

《実績》

タイ:15 社参加、ベトナム:12 社参加、シンガポール:7 社参加

④インセンティブツアー来訪時のおもてなしの実施

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ インセンティブツアー参加者に対するおもてなしを図るため、レセプション開催支援やギフトウェイを準備。

⑤企業との連携によるテクニカル・ビジット(産業視察)の推進

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知・名古屋テクニカルビジットプロジェクト PR 動画の作成・公開。

(4)スポーツ大会の招致・開催

①第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)の開催に向けた準備

【第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)の開催準備】(アジア競技大会推進課)

- ・ 第 20 回アジア競技大会の開催(2026 年)に向け、名古屋市と連携し、関係市町村等との調整を図りながら、開催準備を進めた。

《実績》

- 大会の PR
 - 地域活性化ビジョンの具体化
 - メイン選手村後利用事業の推進
 - (公財)愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会の支援
- ※(公財)愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会における主な取組
- ✓ 大会運営計画(競技会場、宿泊、輸送等)の検討
 - ✓ 選手村の整備
 - ✓ 大会の広報活動
 - ✓ マーケティング活動の推進
 - ✓ OCA(アジア・オリンピック評議会)との連絡、調整

②マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知等のスポーツ大会の開催

【マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知の開催】(スポーツ振興課)

- ・ 「名古屋ウィメンズマラソン 2022」、「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 2022」、「名古屋シティマラソン 2022」、「マラソン EXPO」といった競技・イベントを開催した。

《実績》

- 名古屋ウィメンズマラソン 2022
開催日：3/13 出走者数：8,698 人
- 名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 2022
開催日：3/13 出走者数：10 人
- 名古屋シティマラソン 2022
開催日：3/13 出走者数：7,476 人
- マラソン EXPO
開催日：3/11～13 来場者数：65,247 人

③県内で開催されるスポーツ大会の支援

【奥三河パワートレイルの開催支援】(スポーツ振興課)

- ・ 愛知県最高峰の茶臼山をスタートし、急峻な山や緑深い森、四谷千枚田などの田園風景を駆け抜ける総距離約 70 km、累積標高約 4,000mの本格的な中距離トレイルランニング大会「奥三河パワートレイル」の 2022 年度開催に向けた支援をした。

【新城ラリーの開催支援】(スポーツ振興課)

- ・ 奥三河地域への誘客拡大や特産品振興を通じた地域の活性化を図るため、「新城ラリー」の開催を支援した。

《実績》

開催期日：3/19～20 メイン会場：県営新城総合公園 出場台数：53 台

④その他のスポーツ大会の招致

【アジアパラ競技大会の開催に向けた検討】(アジア競技大会推進課)

- ・ 第5回アジアパラ競技大会(2026年)について、名古屋市と共同で選手村適合性や宿泊施設のバリアフリー対応状況の調査、開催都市契約に関する検討を実施した。

⑤スポーツツーリズムの推進

【東三河スポーツツーリズムの推進】(東三河総局)

- ・ ガイドリーダー育成講座の開催、web等による広報。

柱 5 持続可能な観光の実現

(1)「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の普及

①「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」普及セミナーの開催

《実績》

「持続可能な観光」勉強会参加者:観光コンベンション局職員 44 名

②GSTC 認証取得に取り組む市町村や地域の観光関係団体の支援

《実績》

モデル地区に南知多町が選定

(2)観光人材の確保・育成

①地域の魅力を伝えられる人材の育成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 本県の「ツウ」なテーマのうち、主たる3つ(歴史、産業、自然)について、作成したターゲットに基づき、感動レベルの体験コンテンツを提供できるプロフェッショナルガイドを育成。

《実績》

セミナー受講者:46名(申込み時点) セミナー修了者:11名

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・ 愛知県内における観光マーケティング人材の育成を目的として、地域の観光関係者等を対象に調査結果等を活用した研修会を実施。

《実績》

研修参加者:102名

【街道観光推進】(観光振興課)

- ・ 東海道57次の街道観光関係者が一堂に会するシンポジウムを開催し、有識者による講演や各地の取組事例発表、情報交換等を実施。

《実績》

参加者:東海道沿線都道府県/街道観光関係者等 約50名

【観光まちづくり推進(あいち観光まちづくりゼミ)】(観光振興課)

- ・ 地域で観光まちづくりに取り組む人材を対象に実施する「あいち観光まちづくりゼミ」において、地域資源を活かした「観光コース」を企画・作成する機会を提供。

《実績》

参加者:21市町村から74名

【産業観光あないびと育成】(観光振興課) 再掲

- ・ 観光ボランティアガイドを始めとする地域で活躍している方を対象に、産業観光に関する講習や産業観光施設訪問等を実施し、産業観光の知識を広く習得できる機会を提供。

【地域観光ブランド推進】(観光振興課)

- ・ 観光に携わる県内の市町村職員、観光協会、観光関係者、NPO、ボランティアガイド等から広く参加者を募り、各地域の観光への取組や、今後の課題等について発表を行い、観光による地域づくりに対する取組機運を高める取組を実施。

《実績》

参加者:52名

【観光事業者等感染症対策支援】(観光振興課)

- ・ 観光の専門家を招聘し、県内観光事業者等を対象として、具体的な新型コロナウイルス対策を中心テーマとしたセミナーを開催。

《実績》

参加者:131名(4回計)

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ MICE の最新情報を協議会構成団体等に広く提供するため、MICE セミナーを開催(「ブリーダー推進セミナー」に位置付けて開催)。

《実績》

参加者:42名

【外国人旅行者受入環境整備啓発】(国際観光コンベンション課)

- ・ 観光関係事業者を対象に、外国人旅行者の受入環境整備に係るセミナー等を開催。

《実績》

参加者:観光関係事業者 100名

②就業前の人材に対する観光関連産業の魅力の普及

【あいち観光まちづくりフォーラム・アワードの開催(あいち学生まちづくりアワード)】(観光振興課)

- ・ 大学の研究室、専門学校グループ、高校等から観光振興に関する取組のアイデアを募集し、応募のあった中から、優れたものを選定することで、学生に、より地域を身近に感じてもらい、関心を持ってもらう取組を実施。

《実績》

アワード参加:大学 19件、専門学校 19件、高校 10件

③セミナーやフォーラム、ワークショップなど、知識・技能を高められる機会の提供・支援

【あいち観光まちづくりフォーラム・アワードの開催】(観光振興課)

- ・ あいち学生観光まちづくりアワードの一部の応募者が各々の提案を発表するフォーラムを開催し、来場者に対し、観光に対する興味・関心を高める取組を実施。

《実績》

参加者:472名

④学校における観光教育の普及促進

【高等学校普通科教育課程の弾力化】(高等学校教育課)

- ・ 県立福江高校の観光ビジネスコースで、観光や地域振興に関する教育を推進。
- ・ 県立足助高校に観光ビジネスコースを新設することを検討。

(3)観光イノベーションの促進

①優れた取組を表彰し、横展開を図るアワードの実施

【あいち観光まちづくりフォーラム・アワードの開催】(観光振興課)

- ・ 観光振興に関する取組のアイデアを募集し、優れたものを発表。

②関係者間の情報共有の促進

【Aichi Now web サイト・SNS 情報発信】(観光振興課)

- ・ 愛知の公式観光サイト「Aichi Now」に県内観光関係者向けサブサイト「Aichi Now BIZ」を開設・運営し、関係者間の情報共有を促進。

(4)取組体制の構築

①愛知・名古屋観光誘客協議会を通じた取組の推進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 市町村界を越えた連携を広域自治体である県主導で実現し、市町村が活躍できる場を構築するとともに、地域資源の商品化を促進して、観光振興を推進。

②愛知のお城観光推進協議会を通じた取組の推進

【愛知のお城観光推進】(観光振興課) 再掲

- ・ 本県が全国に誇る「お城観光」の推進を図るため、城郭・城址の持つ価値の再発見を促すとともに、市町村同士の情報共有、広域かつ効率的な情報発信を実施。

③愛知県街道観光推進協議会を通じた取組の推進

【街道観光推進】(観光振興課)

- ・ 街道関係地域の連携・協力体制の強化を図るとともに、「街道」を鍵とした内外からの誘客を図り、街道観光を推進。

④愛知県フィルムコミッション協議会を通じた取組の推進

【フィルムコミッション活動支援】(観光振興課)

- ・ フィルムコミッション及び市町村を中心に連携を図り、広域で映画やドラマなどの撮影を誘致し、誘客を促進。

柱 6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

(1)安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客

①感染防止対策の徹底・正確な情報発信

【観光事業者等感染症対策支援】(観光振興課)

- ・ 観光や医療分野等の専門家を招聘し、県内観光事業者を対象とした具体的な新型コロナウイルス感染防止対策を中心テーマとしたセミナーを開催。
- ・ 旅行者に安心して県内周遊をしてもらうため、観光施設等の新型コロナウイルス感染防止対策の情報提供を行うホームページを制作、運営。
- ・ 本県観光地を訪れた旅行者が「新しい旅のエチケット」を意識して旅行を楽しむ場面を想定した動画を中部国際空港のデジタルサイネージで発信。

【宿泊事業者感染防止対策】(国際観光コンベンション課)

- ・ 宿泊施設における新型コロナウイルス感染防止対策に必要な設備等の導入及びワーケーションの整備等について支援。

【催事飲食感染防止対策】(国際展示場室)

- ・ Aichi Sky Expo で開催される催事に対し、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した飲食エリアを提供する。
- ・ 実証結果はモデルとして情報配信した。

②県民による県内旅行の促進、近隣県・全国からの段階を踏んだ国内誘客

【観光消費喚起「あいち旅eマネーキャンペーン」及び「LOVEあいちキャンペーン」】

(観光振興課)

- ・ 県民による県内旅行を促すため、2021 年度新規事業「あいち旅 e マネーキャンペーン」(旅行者に対し電子マネー等により旅行代金等の割引分を還元)及び 2020 年度からの継続事業「LOVE あいちキャンペーン」(県内旅行商品の割引)を実施。

《実績》

●あいち旅 e マネーキャンペーン

県民(1月11日以降は岐阜、静岡、長野県民含む)による県内に宿泊する旅行に係る代金を還元するもの。

✓ キャンペーン実施期間

10/8～12/31、1/11～2/28

* 感染拡大に伴う停止期間: 1/16～2/28

✓ 還元額

・ 宿泊(旅行)代金の 50%相当額 (最大 5,000 円分/人/1 旅行)(「旅行ポイント」)

・ 土産物店、飲食店、観光施設等での利用金額の 100%相当額

(最大 2,000 円分/人/1 旅行)(「地域ポイント」)

* 「旅行ポイント」と「地域ポイント」を合わせて、「あいち旅eマネーポイント」と呼称し、旅行者自身の選択により、電子マネー、交通系ポイント等の複数の電子決済方法と交換が可能。

✓ 利用者人数/還元額

305,235 人/1,784,244,500 円



●LOVE あいちキャンペーン

県民(1月11日以降は岐阜、静岡、長野県民含む)による県内旅行商品等に一定の補助金を拠出。

①旅行代理店等への交付

✓ キャンペーン実施期間

10/8～2/28 出発分(1/1 出発～1/10は対象外)

*感染拡大に伴う停止期間: 1/16～2/28

✓ 事業者への補助金交付額

1 社 100 万円を上限。

ただし、旅行業法施行規則 第 9 条の 2 に基づいて登録行政庁に提出した、「取引額報告書」(直近の事業年度に係るものに限る)における「合計」欄の額が、100 万円を超える場合は、当該「合計」欄の 1/8 以内まで申請額を引き上げることができる。その場合であっても、1 社 3 千万円を限度とする。

✓ 参画事業者

160 社

✓ 旅行者の補助金利用額

○補助額:割引前の価格の 1/2(1 人 1 回、千円未満切捨、上限 5 千円)

○販売額:旅行業者は、割引後の価格で販売

✓ 利用人数/交付額

89,159 人/413,298,000 円



③国・地域の実情に応じた訪日旅行の回復施策

【海外観光レップ】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外観光レップ(タイ、ベトナム、インドネシア、アメリカ、フランス、オーストラリア)で、各国の現地市場調査を実施。

(2)旅行スタイルの変化への対応と観光コンテンツの高付加価値化

①オンラインによる観光振興

【武将観光情報発信(忍者観光創出)】(観光振興課)

- ・ 愛知県にゆかりのある忍者を活用した「徳川家康と服部半蔵忍者隊」を結成し、Twitter による上オンラインツアーを開催し、遠方地に向けた PR の実施。

《実績》

ツアー回数:7 回、総登録者数:6,322 人(2022 年 3 月末時点)

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ 海外の MICE プランナーを対象に、当地域の強みであるテクニカルビジット(産業視察)のオンラインツアーを実施。

3 2022 年度の主要な観光振興施策

2022 年度は、「あいち観光戦略 2021-2023」の中間年となる。「あいち観光戦略 2021-2023」に掲げる「施策の柱」に係る主な施策は、以下のとおりである。なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、施策の一部または全部が中止となる可能性がある。

柱 1 あいち「ツウ」リズムの推進

(1) 愛知ならではの「ツウ」な魅力向上

① 地域資源の着地型観光プログラム化の促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 市町村・地域観光協会が自らの地域資源を観光プログラムとして磨き上げ、企画カード化。
- ・ 愛知・名古屋観光誘客協議会がそれらのカードを取りまとめ、素材集として全国の旅行会社に発信。

② 旅行者の興味・関心に合わせた着地型観光プログラムの開発促進

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 「ツウ」なテーマのうち、主たる 2 つ(食文化、山車・祭・伝統文化)について、ガイド付き旅行商品の造成・販売を行う。
- ・ 2021 年度に造成したガイド付き旅行商品(歴史・産業・自然)の改善。

【地域資源高付加価値化実証】(観光振興課)

- ・ 地域に根差した歴史や産業、文化等を活用した、付加価値の高い観光コンテンツを実証事業として公募し、専門家及び事務局スタッフによるコンサルティングを実施した上で 150 万円/件を上限に助成金を交付する。
- ・ 支援終了後も事後コンサルティングを行い、自立的運営を支援する。

【大河ドラマ観光誘客】(観光振興課)

- ・ 2023 年大河ドラマ「どうする家康」の放送を契機に、「武将のふるさと」及び「武将のふるさと愛知」を広く全国に情報発信し愛知県への誘客を促進するため、観光プログラムの造成を市町村や地域の観光事業者等へ働きかける。

③ 「ツウ」なテーマごとの市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 交通結節点から県内を周遊するテーマ性の高い日帰りバスツアーを造成・販売する愛知県内の旅行会社に対し、広告宣伝費の一部を助成。

【離島の振興】(地域振興室)

- ・ 離島の魅力発信及び関係人口の持続化・深化に向けた取組の推進。

【食と花の街道】(農業振興課)

- ・ 「いいともあいち食の街道」、「花の王国あいちフラワー街道」の魅力を広く PR することにより、都市と農村の交流人口の増加を促進。

【大河ドラマ観光誘客】(観光振興課)

- ・ 交通事業者との連携による武将観光をテーマとした県内周遊キャンペーンの実施。
- ・ 徳川家康ゆかりの地の3県(愛知県、静岡県、岐阜県)との連携によるPR及び周遊キャンペーンの実施。

④「ツウ」な魅力の多言語化

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 訪日旅行関心層のうち、観光地としての愛知県を認識していない人に対し、言語ごとに関心の高いコンテンツを掲載した特設サイトを制作し、8言語、10カ国・地域で検索画面やSNSでのweb広告を実施し認知度向上を図る。

⑤各分野の専門家と連携した魅力の磨き上げ

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 感動レベルの体験コンテンツを商品化・販売するため、各カテゴリの有識者を招き研修を実施。

⑥歴史的遺産や文化財等の観光資源としての活用の促進

【あいち朝日遺跡ミュージアムの運営】(文化財室)

- ・ あいち朝日遺跡ミュージアムの運営、企画展(年4回)の開催。

【山車まつりの保存・継承・魅力発信】(文化財室)

- ・ あいち山車まつり日本一協議会による山車文化の魅力の発信。

⑦産業博物館や文化・芸術施設の観光資源としての活用の促進

【国際芸術祭「あいち 2022」の開催】(国際芸術祭推進室)

- ・ 国際芸術祭「あいち 2022」において、国内外のアーティスト及びグループの新作を含む作品を展示し、最先端の現代美術を紹介し、県内での広域展開を図る。
- ・ 「スクール・プログラム」「ボランティア・プログラム」等、幅広い層を対象とした様々な「ラーニング・プログラム」を実施。

【あいち航空ミュージアムの運営】(航空空港課)

- ・ あいち航空ミュージアムにおいて、時機を捉えたイベントの企画やコンテンツの継続的な更新を実施。

【陶磁美術館の活用】(文化芸術課)

- ・ 陶磁美術館への来館を促す取組を実施。

⑧地域の歴史、産業、自然、文化等をテーマとした、県民向けの学習機会の提供

【伝統文化出張講座】(文化財室)

- ・ 小・中学校の授業等で、地域の民俗芸能保存団体と交流し、芸能の鑑賞だけでなく、体験・練習及び発表を通じて伝承活動を支援。

⑨「ツウ」な魅力を伝えるガイドの育成

【あいち「ツウ」リズム推進】(観光振興課)

- ・ 「ツウ」なテーマのうち、主たる2つ(食文化、山車・祭・伝統文化)について、作成したターゲットに基づき、感動レベルの体験コンテンツを提供できるプロフェッショナルガイドを育成。

(2)効果的な PR・プロモーション

①デジタルマーケティングの実施

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・ 県内観光資源の来訪者に関する「属性」「周遊性」のデータを収集し、データに基づいた観光動態に関する分析調査を行う。
- ・ 収集・分析したデータを活用し、県内市町村と連携した EBPM 実践の実証事業で観光コンテンツを造成するとともに、デジタルを活用した広告配信を行う。

②運輸機関(鉄道・航空・空港・高速道路会社等)・旅行業者との連携

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ JR 東海と連携し、地域資源を活かした「冷やし旅」キャンペーンを開催。
- ・ 国内の旅行会社を対象にした商談会を開催し、本県を訪れるツアーの造成を促進。
- ・ 一定の要件を満たした旅行会社に対し助成金を交付することで、本県を訪れるツアーの造成を促進。

【高速道路を活用した誘客促進】(観光振興課)

- ・ NEXCO 中日本と連携し、県内の宿泊施設、観光施設の入場、お土産品の購入、お食事などで利用できる観光商品券がセットになったドライブプランを実施。

【大河ドラマ観光誘客】(観光振興課)

- ・ 交通事業者との連携による武将観光をテーマとした県内周遊キャンペーンの実施。
- ・ JR名古屋駅及び名鉄東岡崎駅にインフォメーションセンターを設置し、大河ドラマをきっかけに来県した観光客の周遊を促進。

③メディアへの情報発信、メディアとの連携

【メディアプロモーション強化】(観光振興課)

- ・ メディアを活用した戦略的なプロモーションを実施し、愛知県の観光認知度向上、観光誘客につなげていくため、メディアへの情報発信に実績・ノウハウを有する PR 会社に委託し、柔軟に時宜を得たメディアへの働きかけと、情報発信を実施。

【大河ドラマ観光誘客】(観光振興課)

- ・ NHK と連携したパネル展示、トークイベント等の実施。

④SNS、web を活用した情報発信

【観光デジタルマーケティング推進】(観光振興課)

- ・ 県内市町村と連携した EBPM 実践の実証事業で造成した観光コンテンツの広告配信実施。

【大河ドラマ観光誘客】(観光振興課)

- ・ インターネット広告による PR。
- ・ 特設ホームページによる情報発信。

【武将観光情報発信(忍者観光創出)】(観光振興課)

- ・ 「徳川家康と服部半蔵忍者隊」が YouTube 上でオンラインツアーを開催し、遠方地に向けた PR の実施。

【なごやめし普及促進協議会】(観光振興課)

- ・ 旅行に関心の高い人にターゲットを絞り、なごやめし PR 動画を広告配信する。

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ 訪日旅行関心層のうち、観光地としての愛知県を認識していない人に対し、言語ごとに関心の高いコンテンツを掲載した特設サイトを制作し、8言語、10カ国・地域で検索画面やSNSでのweb広告を実施し認知度向上を図る。

⑤首都圏・関西圏でのプロモーション

【首都圏・関西圏プロモーション推進(愛知の観光物産展開催)】(観光振興課)

- ・ 愛知の観光物産展を継続開催し、他局・市町村・事業者とも連携して効果的に首都圏・関西圏在住者に向けて県内の物産・観光の魅力をPR。

【首都圏・関西圏プロモーション推進(情報発信)】(観光振興課)

- ・ 観光プロモーション公式サイト「こっとり愛知 de 首都圏」及びフェイスブックの効果的な運用により首都圏在住者に向けて愛知の魅力を発信
- ・ 首都圏のパンフレットラックの活用等により、首都圏在住者に向けて愛知の魅力を発信。

【大河ドラマ観光誘客】(観光振興課)

- ・ 首都圏において、「徳川家康ゆかりの地」をPRするイベントを開催。

⑥観光PRキャラクターを活用したPR

【首都圏・関西圏プロモーション推進(観光PRキャラクター)】(観光振興課)

- ・ アイドルグループA.B.C-Zの河合郁人氏を愛知県観光文化大使に委嘱し、ポスターを制作。

【大河ドラマ観光誘客】(観光振興課)

- ・ ロゴマーク及びキャラクターを制作し、PRに活用するとともに、観光土産品の販売促進を行う。

⑦海外観光レップを活用したPR・プロモーション

【外国人旅行者誘致強化】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外の現地事情に精通した「観光レップ」を6か国に設置し、現地旅行会社・メディアへのセールス活動や現地市場調査等を実施。
- ・ 「観光レップ」による有効な旅行博の選定と参加。
- ・ 「観光レップ」による、メディア及び旅行会社を対象にしたセミナーの開催。

⑧「ツウ」なテーマに特化したイベントの開催・出展・支援

【サムライ・ニンジャフェスティバル開催】(観光振興課)

- ・ 県内外からの観光誘客を図るとともに、全国に類を見ないほど武将観光資源に恵まれた本県の特長について、認知度を高めるため、全国の武将隊や忍者隊等が集結するイベントを開催。

【愛知のお城観光推進】(観光振興課)

- ・ 全国最大規模の城郭イベント「お城 EXPO」(12月開催)へ協議会として出展。
- ・ 本県でお城 EXPO と連携した城郭イベント「にっぽん城まつり」を開催。

【ポップカルチャーイベント開催】(観光振興課)

- ・ 愛知県をポップカルチャー観光の聖地として認知度向上を図るため、「世界コスプレサミット」を併催する形で、「あいちポップカルチャーフェスティバル」を開催。

柱 2 受入れ体制の整備・充実

(1)多言語化の促進等による利便性の向上

①宿泊施設や立ち寄り施設等の多言語化の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 利用登録した観光事業者に対し、外国語による施設案内表示等に対する翻訳サービスを提供。

②案内標識・案内板等の多言語化の促進

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ 市町村が設置する観光施設の観光案内板・誘導標識等の多言語化に対する補助事業を実施。

③接客現場における多言語対応の支援

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 利用登録した観光事業者に対して、外国人旅行者との接客時における電話等を利用した通訳サービスを提供。

(3)多様な旅行・宿泊ニーズへの対応

①高級ホテルの誘致

【高級ホテル立地促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ ハイレベルな国際会議の開催や海外の富裕層旅行者等の誘致に向けた高級ホテルの立地を促進。

②ワーケーション・ブレッジャー客の取り込み

【テレワーク・ワーケーションの促進】(地域振興室)

- ・ 三河山間地域におけるワーケーション等の促進のため、企業等を対象とした実証実験を実施。

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 名古屋商工会議所と連携し、ブレッジャー推進プロジェクトを実施。

(4)ユニバーサルツーリズムの推進

①バリアフリー化への支援

【観光施設費等補助金】(観光振興課)

- ・ 市町村が設置する観光施設のバリアフリー化に対する補助事業を実施。

②バリアフリー情報の発信

【「Aichi Now」でのバリアフリー情報の発信】(観光振興課)

- ・ 「Aichi Now」掲載施設のうち、バリアフリー状況の掲載が望まれる施設について、2019年度に追記したバリアフリー情報を継続発信。

(5)旅行者の安全・安心の確保

①災害時における外国人旅行者への多言語での情報発信

【多言語コールセンター運営】(国際観光コンベンション課)

- ・ 災害発生時、訪日外国人への情報提供手段として通訳サービスを提供。

柱 3 観光交流拠点としての機能強化

(1)周遊観光・広域観光の推進

①交通結節点からの周遊観光・広域観光の推進

【愛知観光プラットフォーム推進】(観光振興課)

- ・ 交通結節点から県内を周遊するテーマ性の高い日帰りバスツアーを造成・販売する愛知県内の旅行会社に対し、広告宣伝費の一部を助成。
- ・ 名古屋市において、期間限定で定期観光バスを運行。
- ・ JR 東海と連携し、新幹線駅からの周遊観光を促す「冷やし旅」キャンペーンを開催。
- ・ JR 東海の EX サービスで同社が販売する「愛知満喫パス」を支援し、新幹線駅からの周遊観光を促進。

②ジブリパークを活用した誘客、周遊観光の促進

【ジブリパーク構想地域連携協議会の活動の推進】(ジブリパーク推進課)

- ・ 2022 年 11 月に開園するジブリパークを核に、愛・地球博記念公園周辺の自治体及び鉄道事業者が一体的・有機的な連携を図り、地域活性化に向けた協力関係を構築することで、ジブリパークを活かした周辺地域の更なる発展・活性化を推進。

【ジブリパーク周遊観光促進】(観光振興課)

- ・ ジブリパーク来園者のデータ統計データ等を提供するシステムの運用。
- ・ ジブリパーク来園者向け観光情報等発信特設サイト「ジブリパークのある愛知への旅」の構築・運営、特設サイトで販売する観光プログラムの造成。
- ・ キービジュアル／動画『風になって遊ぼう。』を活用した PR。

【海外誘客情報活用推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 訪日旅行関心層のうち、観光地としての愛知県を認識していない人に対し、言語ごとに関心の高いコンテンツ及びジブリパークコンテンツを掲載した特設サイトを 8 言語で制作。

③中央日本総合観光機構や東海地区外国人観光客誘致促進協議会の広域連携事業体を通じた取組の推進

【中央日本総合観光推進機構】(国際観光コンベンション課)

- ・ 中部 9 県の自治体・観光関係事業者と連携し、コンテンツ・パッケージ・プラットフォーム事業、データ・マネジメント・プラットフォーム構築事業、エリア内連携事業を実施。

【東海地区外国人観光客誘致促進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 東海 4 県 2 市と連携し、プロモーション事業を実施。
- ・ 愛知県内の市町と連携し、プロモーション事業を実施。

④近隣県を含んだ周遊の促進

【観光資源連携推進】(観光振興課)

- ・ 本県の武将観光施設及び産業観光施設への集客増と広域誘客を図るため、隣接の岐阜県と連携してスタンプラリーを実施。

(2)航空路線・外航クルーズ船の誘致

①エアポートセールス等を通じた航空路線の復活・誘致

【エアポートセールス等を通じた航空路線の復活・誘致】(航空空港課)

- ・ 新型コロナウイルス感染症による運休・減便の影響が続いている航空ネットワークの早期回復及び拡充に向けエアポートセールスを実施。

②ポートセールス等を通じた外航クルーズ船の誘致

【クルーズ船誘致促進】(国際観光コンベンション課)

- ・ クルーズ船の誘致を実施。

(3)モビリティ・マネジメント

①MaaS の普及促進

【マルチモーダルサービス導入実証】(交通対策課)

- ・ 名古屋東部丘陵地域を中心とする地域を対象とした MaaS の導入に向けた実証実験の実施。

柱 4 MICE の誘致・開催、Aichi Sky Expo(愛知県国際展示場)の活用

(1)国際会議・展示会の誘致・開催

①国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 国際 MICE エキスポ(IME2023)への出展。
- ・ 東南アジア最大規模の MICE 見本市「IT&CM Asia」への出展。

②JNTO 主催セミナー・商談会への参加

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ JNTO 主催シンガポール MICE セミナー商談会への参加。
- ・ JNTO 主催国内 MICE 商談会(Visit Japan Travel & MICE Mart)への参加。

③東京での説明会の開催

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課)

- ・ 愛知・名古屋 MICE 説明会の開催。

④国際会議・展示会の誘致・開催支援

【日台観光サミット誘致推進】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2023 年に国内で開催される日台観光サミットの本県への誘致を推進。

【G7 サミット及び関係閣僚会合の誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 2023 年に国内で開催される G7 サミット及び関係閣僚会合を名古屋市と連携して誘致。

【愛知県国際展示場における官民連携による需要創造】(国際展示場室)

- ・ 地域プロモーションの実施。
- ・ 催事の開催支援。
- ・ 展示会等の企画・開催。

(2) イベントの誘致・開催

① ツーリズム EXPO ジャパンの誘致

【ツーリズム EXPO ジャパンの誘致】(国際観光コンベンション課)

- ・ 国内最大の旅行博である「ツーリズム EXPO ジャパン」の 2024 年以降の開催を誘致。

⑤ 技能五輪国際大会の招致

【技能五輪国際大会の招致】(産業人材育成課)

- ・ 招致機運を盛り上げるイベントを開催。

(3) インセンティブツアーの誘致

① 国内外の見本市への出展

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ 国際 MICE エキスポ(IME2023)への出展。
- ・ 東南アジア最大規模の MICE 見本市「IT&CM Asia」への出展。

② JNTO 主催セミナー・商談会への参加

【愛知・名古屋 MICE 推進協議会】(国際観光コンベンション課) 再掲

- ・ JNTO 主催海外インセンティブ旅行セミナー・商談会(韓国・シンガポール・台湾)への参加。
- ・ JNTO 主催国内 MICE 商談会(Visit Japan Travel & MICE Mart)への参加。

(4) スポーツ大会の招致・開催

① 第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第 5 回アジアパラ競技大会の開催に向けた準備

【第 20 回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)・第 5 回アジアパラ競技大会の開催準備】

(アジア・アジアパラ競技大会推進課)

- ・ 第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会の開催(2026 年)に向け、名古屋市と連携し関係市町村等との調整及び開催準備を実施。

② マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知等のスポーツ大会の開催

【マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知の開催】(スポーツ振興課)

- ・ 「名古屋ウィメンズマラソン 2023」、「名古屋ウィメンズホイールチェアマラソン 2023」、「名古屋シティマラソン 2023」、「マラソン EXPO」といった競技・イベントを開催。

柱 5 持続可能な観光の実現

(2) 観光人材の確保・育成

① 地域の魅力を伝えられる人材の育成

【観光まちづくりゼミ】(観光振興課)

- ・ 地域資源を活かした「観光コース」を企画・作成し、モニターツアーを実施する「観光まちづくりゼミ」の取組を通じて、地域で観光まちづくりに取り組む人材を育成。

②就業前の人材に対する観光関連産業の魅力の普及

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

- ・ 県民から広く企画を募集し、アワードを開催し、学生部門により学生の優れた企画を表彰する。

③シンポジウムやフォーラム、ワークショップなど、知識・技能を高められる機会の提供・支援

【観光まちづくり推進】(観光振興課)

- ・ 有識者による観光まちづくりをテーマとしたシンポジウムを開催。
- ・ ワークショップを行い、地域資源を活かした企画作成支援を実施。
- ・ 県民が作成した企画のうち優秀な企画を発表、表彰するフォーラムを開催し、有識者によるパネルディスカッションを実施。

④学校における観光教育の普及促進

【高等学校普通科教育課程の弾力化】(高等学校教育課)

- ・ 県立足助高校に観光ビジネスコースを 2023 年度に新設するための準備。

柱 6 ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

(1)安全・安心の強化と感染状況に応じた誘客

①感染防止対策の徹底・正確な情報発信

【催事飲食感染防止対策】(国際展示場室)

- ・ Aichi Sky Expo で開催される催事の飲食エリアにおける感染防止対策を支援。
- ・ 催事主催者の感染防止対策に対する意識向上につなげるため、実施結果を公表。

②県民による県内旅行の促進、近隣県・全国からの段階を踏んだ国内誘客

【観光消費喚起(地域観光事業支援)】(観光振興課)

ア あいち旅 e マネーキャンペーン

- ・ 旅行業者で予約する宿泊旅行及び宿泊施設へ直接又はオンライントラベルエージェント(OTA)経由で予約した宿泊施設の利用をした対象地域在住者に対し、旅行代金の 1/2 相当分(上限 5,000 円)を支援。
- ・ 旅行期間内に利用した土産物店や飲食店、観光施設の利用について、2,000 円を上限に利用額に応じて還元。

イ LOVE あいちキャンペーン

- ・ 愛知県内の旅行業者で予約する県内旅行商品について 1/2 相当分(上限 5,000 円)を旅行業者へ補助し、割引後の旅行商品を販売する。

③国・地域の実情に応じた訪日旅行の回復施策

【外国人旅行者誘致強化】(国際観光コンベンション課)

- ・ 海外観光レップで、各国の現地市場調査を実施。

(参考)あいち観光戦略推進委員会

愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の 2021年度の実施状況に関する議会への報告及び公表に当たり、2022年9月8日(木)に、下表の委員で構成する「あいち観光戦略推進委員会」を開催し、当該実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・役職	出欠
袁 静	株式会社行楽ジャパン 代表取締役社長	出席
◎大澤 健	国立大学法人和歌山大学経済学部 教授	出席
クリス・グレン	有限会社パスト・プレゼント・フューチャー 代表取締役	出席
坂本 敏彦	名古屋市観光文化交流局観光交流部長	出席
中津 功	一般社団法人日本旅行業協会 中部支部 事務局長	出席
西原 浩二	一般社団法人全国旅行業協会 愛知県支部 事務局長	出席
西村 哲治	公益社団法人日本観光振興協会 中部支部 事務局長	出席
二神 真美	名城大学外国語学部 教授	欠席
山口 司	一般社団法人日本ホテル協会 中部支部 事務局長	出席
○横山 陽二	東海学園大学経営学部 客員教授	出席

◎…委員長、○…副委員長

2022 年度版
あいち観光戦略に基づく観光振興施策の実施状況
(2021 年度年次報告書)
2022 年 10 月発行

作成・発行
愛知県観光コンベンション局観光振興課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 2 号
電 話 052-954-6353
FAX 052-973-3584
メール kanko@pref.aichi.lg.jp
web <http://www.pref.aichi.jp/kanko/>